

とやまの歴史的まちなみ

とやまの歴史的まちなみ

富山県教育委員会



富山県教育委員会

はじめに

富山県教育委員会では平成16年度から「とやま文化財百選」事業を行っています。これは、身近な文化財を対象に、郷土の誇りとして後世に受け継いでいきたいものを選定して、県民の皆さんがふるさとの文化財の価値を再認識し、地域ぐるみで保存・活用していくきっかけにさせていただくことを目的とした取り組みです。

これまで、「土蔵」、「獅子舞」、「祭り」、「年中行事」、「お城」、「近代歴史遺産」をテーマに取り上げました。今年度は第7弾として、町並みや集落をテーマに、とやまの歴史的まちなみ百選として選定を行いました。

このガイドブックは、とやまの歴史的まちなみの特徴や見所などとともに、選定された町並みや集落の概要について紹介したものです。

富山県内には歴史的な建造物や街道が良好に残されている地域があり、そこでは、歴史や伝統を活かした人々の生活が営まれています。また、地域固有の風情や情緒が継承され、地域住民によるまちなみの魅力を活かした取り組みも行われています。本書では、こうした魅力あるまちなみを紹介しており、富山県の魅力の一端に触れていただきたいと思います。是非、現地を訪れ、歴史的まちなみのすばらしさに肌で触れてみてください。

目次

- 1 富山県の歴史とまちなみ 1
- 2 富山県ならではの歴史的まちなみの事例 3
- 3 とやまの歴史的まちなみ百選 4
- 4 建造物の構造 62
- 5 とやまの歴史的まちなみ百選一覧 64
- 6 とやまの歴史的まちなみ百選マップ 68

『とやまの歴史的まちなみ』百選は、主な特徴を以下のマークで分類しています。



歴史的建造物からなる まちなみ

文化財（建造物、伝統的建造物群、登録有形文化財、史跡、天然記念物等）や歴史的建造物のあるまちなみ



伝統的な行事が行なわれる まちなみ

伝統の祭りや行事の舞台となるまちなみ



歴史的な街道や往来からなる まちなみ

歴史的な往来、都市計画、農村整備などによるまちなみ



その他

歴史的な事件や映画等の舞台となったまちなみ、海、山、丘陵からのまちなみのビューポイント

(表紙写真は高岡市金屋町)

平成22年度とやま文化財百選選定委員会委員

押田 洋治
加藤 享子
後藤 治
柴田 聡
西村 幸夫
植生 雅章 (五十音別、敬称略)

とやまの歴史的まちなみ百選は市町村と選定委員の推薦をもとに、選定委員会で検討しました。

地図出典：「電子国土」 URL <http://cyberjapan.jp/>

とやまの歴史的まちなみ

編集・発行 富山県教育委員会 (生涯学習・文化財室)
富山市新総曲輪1-7
電話 076-444-3456
<http://www.pref.toyama.lg.jp/>

発行年月日 平成23年3月

印刷 (株)タニグチ印刷

1 富山県の歴史とまちなみ

(1) 歴史的なまちなみ形成

富山県は北方が富山湾に面し、三方を山岳で囲まれている。東方には北アルプス、南方には飛騨山地、西方には宝達丘陵と医王山の丘陵が横たわり、3,000m級の峻峰から流れ下る急流河川によって形成された扇状地が、広大な富山平野を形成している。

この地形的な特徴により、古代から地域間の移動と交易には、内陸河川が利用された舟運、日本海の海運、牛馬による陸運が適宜使い分けられてきた。富山県内の町並みや集落は、こうした交通の要衝に成立したものが多く。

飛騨地方から富山平野を北流する神通川と、砺波平野を北流する庄川沿いの谷口の要衝には、富山市笹津、砺波市金屋といった積荷の集積の拠点となる町並みが発達した。米などの農産物が積み出された井田川沿いの富山市八尾町、庄川沿いの高岡市中田、小矢部川沿いの高岡市木町なども舟運の拠点として栄えた町並みである。富山平野をほぼ東西に走る北陸街道とその脇街道では、旅人の渡川のための集落として、黒部川沿いの黒部市沓掛、神通川沿いの富山市蟹寺、小矢部川沿いの小矢部市西福町・東福町などが成立した。

富山湾の海岸は砂浜であること、河川の舟運が盛んであったことなどから、海運の港は、河川の河口に設けられたものが多い。運送品の積み込みは、舢艀による沖合に停泊した船への移送が一般的であった。黒部川の河口には生地が、常願寺川の河口には水橋が、神通川の河口には東岩瀬と四方が、庄川の河口には庄西町が、小矢部川の河口には伏木が港町として発展した。

山間部の街道の要衝には、積荷の中継基地などの役割を果たした、飛騨街道沿いの富山市猪谷・東猪谷、五箇山街道沿いの南砺市西赤尾、白ヶ峰往来の床鍋などの集落が賑わった。

一方、国内で一般的に見られる城下町、商家町(市場町)、門前町、宿場町や農・漁村なども存在する。城下町には高岡市本丸町・末広町、商家町には南砺市福野町、門前町には南砺市城端、宿場町には入善町舟見、農村には上市町五位尾、漁村には朝日町宮崎などがある。

近代の都市景観も、富山県を特徴づける歴史的町並みのひとつである。昭和3年に策定された富山都市計画によって設けられた新総曲輪には、政治、経済の中心的な施設が現在も現役施設として稼働し、県都の中心市街地を形成している。高岡市山町筋は、明治33年の大火を契機として設けられた防火建築群であり、いわば明治期の都市計画による町並みとすることができる。



廻船問屋のまちなみ(富山市東岩瀬)



門前町のまちなみ(南砺市城端)



富山都市計画のまちなみ(富山市新総曲輪)

(2) 交通手段からみた歴史的まちなみの事例

①内陸河川とまちなみ

小矢部川と千保川の合流地点にある高岡市木町は、近世初期の高岡町立ての際、舟運による物流の拠点として設けられ、塩や材木など一切の諸荷物がここで取り仕切られた。小矢部川の中流には近世初期に小矢部市西福町・東福町が町立てされ、舟運による藩米などの積み出しがなされ、料亭などで賑わった。庄川流域の砺波市庄川町金屋は、飛騨からの流木の集積地であり、近代には大型の水力発電用ダムの建設の拠点として発展した町並みである。



(高岡市木町)

②港とまちなみ

日本海沿岸の港町を結んだ西廻り航路は、近世後期から近代にかけて北前船の就航で活気を呈した。常願寺川河口の富山市水橋、神通川河口東岩瀬と四方、放生津潟の射水市八幡町周辺、小矢部川河口の伏木と庄西町などには、大きな北前船の廻船問屋が軒を並べ、往来に町屋を形成した。河川の舟運によって集められた富山平野の農産物が積み出され、また、北海道や上方の産物と情報が持ち込まれ、文化・情報の拠点となった町並みである。



(高岡市伏木湊町)

③街道とまちなみ

近世に整備された街道には、加賀と越後へ繋がる北陸街道、飛騨とを結ぶ飛騨街道、能登半島へ延びる海浜道などがある。朝日町境は越後との国境の町であり、関所とともに御旅屋や役宅などが設けられた。神通川左岸の富山市猪谷には富山藩の、右岸の東猪谷には加賀藩の関所が設けられるとともに、飛騨地方とを結ぶ要衝として大きな役割を果たした。南砺市福野は南北と東西に走る街道の結節点に栄えた市場町であり、産物の物流で発展した。



(富山市片掛)

2 富山県ならではの歴史的まちなみ

(1) 独特の建築様式の建造物が建ち並ぶまちなみ

世界文化遺産に登録されている五箇山の合掌造り集落には、南砺市相倉と菅沼があり、同市上梨にも重要文化財の合掌造り建物がある。急峻な谷間に棟を寄せ合い、背後の雪持林と周囲の棚田と組み合わせられた景観は、日本の農村の原風景のひとつである。砺波平野には切妻造りで、梁と束の間に白壁を塗りこんだ大きな妻を正面に見せるアズマダチが分布する。建築物と周囲の屋敷林、耕作地の農家が、平野全体に広がる美しい散村の景観である。



(南砺市菅沼)

(2) 歴史的な祭り・行事の舞台となるまちなみ

近世に発展したいわゆる在郷町には、娯楽としての風流が人々の行き交う往来で行われ、祭り・行事の装置として活用されている町並みや集落がある。高岡市山町筋、魚津市諏訪町周辺、南砺市城端や福野などの町並みでは大型の曳山が豪壮に曳き廻される。民謡民舞では、富山市八尾町、南砺市下梨と上梨、朝日町宮崎などで踊りの行列の町流しが行われている。魚津市小川寺、黒部市明日、射水市加茂中部などでは、社寺の境内での民俗芸能が継承されている。



(高岡市山町筋)

(3) 近代の都市計画によるまちなみ

県都・富山市の中心部は昭和3年の富山都市計画事業によって設けられた富山県庁、電気ビル、松川に架かる桜橋、富岩運河などが建設当初の姿で現在もその機能を果たしている。神通川の廃川地を埋め立てて新たな官庁街となった新総曲輪には、鉄筋コンクリート造りで外壁がレンガ化粧の富山県庁や電気ビルが建ち並ぶ。旧神通川の河道を流れる松川と鋼アーチ橋の桜橋の景観は、都市景観に調和した美しさを残している。

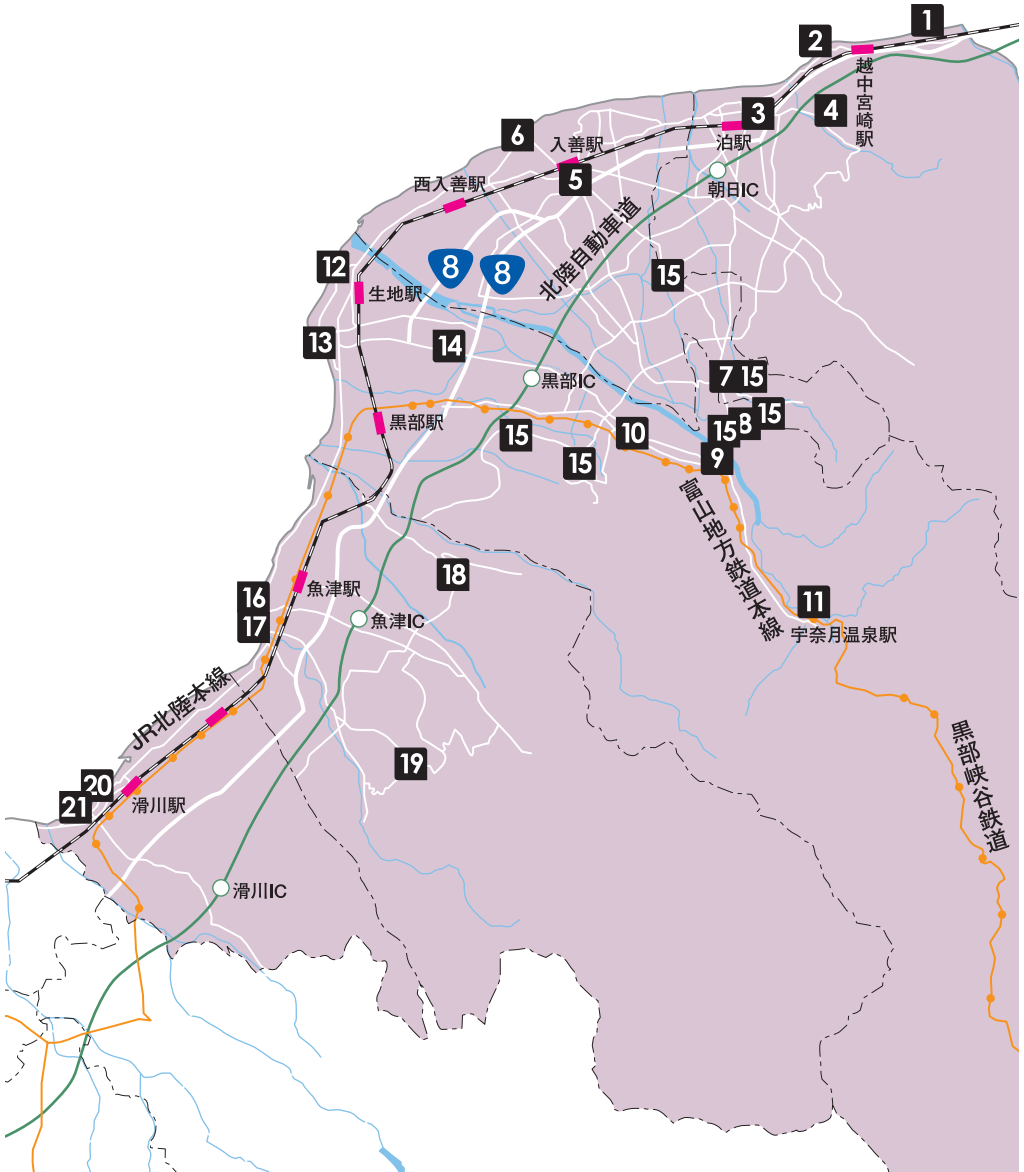


(富山市新総曲輪)

3 とやまの歴史的まちなみ百選

新川地区

魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町



1 境地区

さかいちく



北陸街道沿いで、古刹や商家が建ち並ぶ集落

所在地 下新川郡朝日町境

分類 往来・集落

概要 東西に走る北陸街道の両側に木造建築が建ち並ぶ集落で、いくつかの切妻造り平入りの建物が、約1.5kmの通りに軒を並べる。近世には加賀藩の境関所が設けられ、御旅屋、番所や役人用の長屋などがあったとされる。往来は製塩業や漁業に従事する住民の住宅街であったが、近代になってからは、二階建てで出格子の付いた醸造業の町屋なども建てられ、古刹の護国寺などとともに簡素な雰囲気の家並みを形成している。

ポイント 護国寺(石楠花の名所)
「関の館」(関所資料の展示)



2 宮崎地区

みやざきちく



北陸街道沿いで、往来で伝統行事が行われる集落

所在地 下新川郡朝日町宮崎

分類 行事

概要 北陸街道沿いに約500mの長さで通りの両側に民家が建ち並び、毎年5月3日と4日に町指定無形民俗文化財の春祭りである鹿島神社稚児舞が演じられる。地区の男児は紋付袴に化粧廻しで、女児は花笠に振袖の衣装をまとい、地区の家々を門付けして廻る。賑やかな春の風物詩となっている。通りにはわずかではあるが、木造切妻造り妻入りの家屋が並ぶ。

ポイント 鹿島樹叢(国指定天然記念物)
ヒスイ海岸が愛称の宮崎海岸

3 神田町の通り

かんだまちのとおり



北陸街道沿いで、茶屋が軒を連ねる町並み

所在地 下新川郡朝日町沼保

分類 往来・集落

概要 棧瓦葺きの木造和風建築の料亭が軒を連ねる約100m四方の料亭街である。北陸街道の越中の東端に立地した泊町には、茶屋や料亭が営まれていた。それらは明治32年に現在の地区に集められて、新しく歓楽街が形成された。隣接する泊地区の街道沿いには木造二階建ての切妻造りの商家が現在でもわずかに残されており、この通りとともにかつての宿場町の風情を伝えている。

ポイント 石畳の往来 泊芸妓の舞踊



4 笹川地区

ささがわちく



山間の農村で、農家、土蔵と石垣のある集落

所在地 下新川郡朝日町笹川

分類 往来・集落

概要 日本海に注ぐ笹川の中流域に位置し、右岸の河岸段丘に細長く家並みが延びる農村集落である。多くの家屋や棚田の基礎は、川原石を利用した野面石積みの石垣で造られ、背後の山々と融合した農村風景が醸し出されている。集落の南部に所在する諏訪神社には木曾義仲ゆかりの伝承が伝えられており、また、富山県では珍しい越後型神楽獅子の舞台としても知られている。

ポイント 諏訪神社の獅子舞(4月、8月)
「七重滝」(町名勝)

5

なままちしょうてんがいどおり

中町商店街通り



北陸街道の宿駅で、家屋が軒を並べる町並み

所在地 下新川郡入善町入膳

分類 往来・集落

概要 近世には「黒部四十八カ瀬」と呼ばれた黒部川扇状地の扇端部に立地し、500m程東西に延びる町並みである。黒部川の冬の減水期に利用された北陸街道の「下往還」の宿駅として、近世に町家が整備された。『奥の細道』の旅で元禄2年(1689)にここを訪れた松尾芭蕉は、宿馬を求めたもの見つからず、人足に荷を持たせたことが曾良の日記に記録されている。

ポイント 木製路程標(大正初年建立)、高札橋の高札(昭和期に復元)



6

よしわらちく

吉原地区



農・漁村で、小説と映画の舞台となった道のある集落

所在地 下新川郡入善町吉原

分類 その他、往来・集落

概要 黒部川扇状地の扇端部に位置する漁業と農業の集落である。海岸線に沿って集落が広がり、近世には現在は海中となっている海辺往来を旅人が行き来した。芥川賞作家の柏原兵三の自伝的小説『長い道』では、この地区から南の上原小学校まで南へまっすぐ延びる約2kmの1本道が物語の舞台となっている。電柱以外は遮る建物などが一切ない見事にすっきりとした農道である。

ポイント 吉原の恵比寿祭りと七夕祭り(8月)
吉原沖の海底林



7 舟見地区

ふなみちく



北陸街道の宿場町で、伝統的な民家が建ち並ぶ集落

所在地 下新川郡入善町舟見

分類 往来・集落

概要 北陸街道の宿場町である。500m程続く街道の両側に木造二階建て切妻造り妻入りの町家残り、妻面の白い漆喰壁が整然と並んでいる。南側の街道の入り口は鍵型に直角に折れ曲がり、「舟見宿の枡形」と呼ばれている。近世には黒部川の夏の増水期に利用される「上往還」の宿駅として栄え、町並みのほぼ中央部に本陣と脇本陣が設けられていた。

ポイント 舟見の七夕祭り(7月)、十三寺の仏像群(県有形文化財)



8 法福寺参道

ほうふくじさんどう



古刹の門前町で、境内で伝統行事が行われる集落

所在地 黒部市宇奈月町明日

分類 往来・集落、その他

概要 真言宗の古刹である明日山法福寺は、大同元年(806)の開基とされ、その参道は北陸街道の「上往還」から直角に、約700m続く。近世の絵図には参道に大鳥居が描かれているが現存しない。寺院に向かってまっすぐ延びる参道と、その両側に整然と建ち並ぶ住宅が、往時の町並みを偲ばせている。法福寺の境内では桜の時期に稚児舞が演じられ、春の風物詩となっている。

ポイント 明日の稚児舞(国無形民俗文化財)
明日の大桜(県天然記念物)

9

うなづきまちおりたていっく

宇奈月町下立1区



北陸街道沿いの渡川の要衝で、往来で伝統行事の行われる集落

所在地 黒部市宇奈月町下立1区

分類 行事

概要 黒部川扇状地の扇頂部左岸に位置する集落で、400m程の通りの両脇に町並みが続く。黒部川の増水期に利用された北陸街道の「上往還」にあたる。大蛇に嫁した娘・お光の伝承が残され、これを祀る愛本姫神社で6月21日に仮装行列の祭りが行われる。鉄製アーチ橋となった愛本橋が近くに設けられ、緑の山々を背景とした家並みとアーチ橋のコントラストが映える。

ポイント 愛本姫社祭り(6月)、愛本のウラジロカシ林(県天然記念物)



10

うなづきまちうらやまちく

宇奈月町浦山地区



北陸街道の宿場町で、伝統的な家屋が残る集落

所在地 黒部市宇奈月町浦山

分類 往来・集落

概要 北陸街道の宿場町で、約1kmの街道の両側に、近年の改修・新築のものではあるが、塀を持つ大きな木造和風建築が建ち並び、往時の町並みを偲ぶことができる。黒部川の左岸河岸段丘上に位置し、集落のほぼ中央に位置する願蓮寺付近に本陣や御旅屋が設けられていたとされる。東側に広がる黒部川扇状地と西側に連なる山々の間に横たわるのどかな集落である。

ポイント 大伴家持ゆかりの鶏野神社
とやま桜の名所「月訪の桜」



11

うなづきおんせんがい

宇奈月温泉街



山間に開けた温泉宿の町並み

所在地 黒部市宇奈月温泉

分類 往来・集落

概要 富山県内では最大の温泉街である。黒部川の中流域の山間部で、かつて桃原と呼ばれた河岸段丘上に位置し、上流7kmの黒蘆温泉から引湯している。大正時代の黒部峡谷の電源開発を契機として、大正14年(1925)に開湯した。昭和21年には大火によって大半の施設が焼失したものの、その後建てられた近代的な鉄筋コンクリートの温泉宿が、山間の緑に溶け込んでいる。

ポイント 黒部峡谷(国特別名勝・天然記念物) 黒部峡谷の鉄道橋群(とやまの近代歴史遺産百選)



12

あらまたちく

荒俣地区



河口の積出拠点で、現在は農・漁村の集落

所在地 黒部市荒俣

分類 往来・集落

概要 黒部川扇状地の扇端部に位置する農・漁村集落である。海岸の砂丘上に家並みが成立され、約500mの長さで概ね東西に細長く民家が連なっている。近世には集落の東西両側を黒部川が流れており、いわゆる川中島に成立した集落で、黒部奥山の材木が積み出された港町であった。現在は細い路地を挟んで真壁の木造建築が数棟残っている。

ポイント 黒部川河口からの北アルプス遠望
生地台場(県史跡)

13

いくじなかはししゅうへん

生地中橋周辺



海浜往來の宿駅で、商家、倉庫、民家が軒を並べる町並み

所在地 黒部市生地

分類 その他、往來・集落

概要 黒部川扇状地の扇端部に位置し、近世の海浜往來で唯一の宿駅であった。現在は黒部漁港を中心として町並みが南北に広がっている。漁港を跨ぐように架かる生地中橋の周辺では、海岸沿いに漁業関係の倉庫群が並び、基幹の通りに沿って民家や商家が密集している。海産物を扱う商店が多く、歴史的な港町の風情を漂わせている。

ポイント 生地鼻灯台(昭和26年建設)

生地中橋(世界的に珍しい旋回式可動橋)



14

くつかけちく

沓掛地区



北陸街道沿いの渡川の農村で、民家が建ち並ぶ集落

所在地 黒部市沓掛

分類 往來・集落

概要 黒部川の冬の減水期に利用された北陸街道の下往還に沿って成立した集落である。黒部川の左岸に位置し、旅人が渡川の準備に足を留めた集落である。現在は往時のままと考えられる蛇行した街道の両脇に民家が建ち並び、周囲の水田、東側を北流する黒部川、南側に屏風状に横たわる北アルプスの峰々を美しい背景として、家並みが形成されている。

ポイント 沓掛の獅子舞(とやまの獅子舞百選)

北アルプスの遠望

15

くるべがわせんじょうちのさんそんのてんぼうちいき

黒部川扇状地の散村の展望地域



屋敷林と耕作地をもった民家が点在する農村景観

所在地 黒部市(宮野運動公園、宇奈月町栃屋金比羅社、宇奈月町中ノ口石動彦社展望台、明日キャンプ場)、入善町(舟見城址館展望台、下山芸術の森展望塔)

分類 その他

概要 黒部川扇状地は、扇頂部から扇端まで約13km、面積は約9600haの典型的な扇型を呈した扇状地である。北アルプスの豊富な湧水に恵まれ、扇端では自噴が見られる。近世には黒部四十八カ瀬と呼ばれるように、扇状地に多くの河道があった。周囲に水田を巡らし、杉林の屋敷林を持った農家が点在する散村を形成している。水田・屋敷林・富山湾と能登半島の遠望は幻想的な光景となっている。

ポイント 黒部川扇状地湧水群(全国名水百選) 「杉沢の沢スギ」(国指定天然記念物)



下山芸術の森展望塔



舟見城址館展望台



明日キャンプ場



宮野運動公園



栃屋金比羅社



石動彦社展望台

16

すわまぢゅうへん

諏訪町周辺



古社の門前の往来で伝統行事が行われる町並み

所在地 魚津市諏訪町

分類 行事

概要 富山湾に西面する諏訪神社を中心として200m程の長さで民家が軒を並べる町並みである。毎年、諏訪神社の夏季祭礼としてタテモン祭りが華やかに開催される。木製の大型ソリの上に立てられた約15mの心棒に多数の提灯が三角形に吊るし下げられ、威勢の良い引き手によって曳き廻される。夏の夜空と鮮明なタテモンが、家並を背景として鮮やかなシルエットを夜空に映し出す。

ポイント 魚津のタテモン行事(国無形民俗文化財)
魚津埋没林(国特別天然記念物)



17

ほんまちいっちょうめしゅうへん

本町1丁目周辺



北陸街道沿いで、いわゆる米騒動の建物が残る町並み

所在地 魚津市本町1丁目(旧・大町)

分類 その他、建造物、往来・集落

概要 南北に走る北陸街道沿いに成立した町並みである。間口が狭く奥行のある民家が通りに建ち並ぶ。中・近世に存在した魚津城の西側にあたる。明治44年(1911)に建てられた旧・十二銀行の事務所棟と大正3年の米倉は、大正時代のいわゆる米騒動の舞台のひとつであり、現在、建物は修復され、往時の状況を偲ばせている。

ポイント 旧十二銀行の建物群(とやまの近代歴史遺産百選) 富山湾の蟹気楼の眺望海岸

18

おがわじちく

小川寺地区



山間の古社寺の門前で伝統行事が行われる集落

所在地 魚津市小川寺

分類 行事

概要 猫又山に源を発する片貝川の支流である布施川の中流域左岸で、古刹・千光寺を中心として成立した集落である。僧ヶ岳の山岳信仰から発展した千光寺は3箇寺と観音堂から成る。1月26日の火祭、3月12日の春祭、10月12日の秋祭に二人立ちの行道獅子が観音堂を7回半巡る珍しい行事が伝承されており、初源的な様相の獅子舞が古刹と山村集落の中で演じられる。

ポイント 小川寺の獅子舞(県無形民俗文化財)
天神山城跡(市史跡)



19

きたやまちく

北山地区



山間の集落で、温泉宿が建ち並ぶ集落

所在地 魚津市北山

分類 往来・集落

概要 富山湾に注ぐ角川支流の富川の上流に位置し、周囲を山々に囲まれた小さな台地上に温泉街が存在する。慶応3年(1867)に発見された霊水を用いていくつかの鉱泉宿が営業を始めたとされる。現在は5棟の近代的な旅館が建てられている。山間に民家と温泉宿がひっそりと棟を寄せ合う町並みは、ひっそりとした穏やかな湯治場の景観となっている。

ポイント 北山城跡(とやまのお城百選)
松倉城跡(県指定史跡)

20

せわまち・おおまち・あらまち・なかまちのとおり

瀬羽町・大町・荒町・中町の通り



北陸街道沿いの宿場町で、商家が建ち並ぶ町並み

所在地 滑川市瀬羽、大町、中町

分類 建造物、往来・集落

概要 富山湾の海岸沿いを南北に走る北陸街道に沿った旧滑川町内の宿場町である。本陣は現在の浄土真宗の養照寺におかれ、往時のまの上段の間が残されている。国登録有形文化財の城戸家住宅、小沢家住宅や旧宮崎酒造など木造切妻造り平入りの建物群や、廣野医院の洋風木造の寄棟造りの建物などが街道の両側に軒を連ね、町並みを形成している。

ポイント 式内社である櫛原神社と芭蕉の句碑
ホタルイカ群遊海面（国特別天然記念物）



21

かしまちょうしゅうへん

加島町周辺



北陸街道沿いで、往来で伝統行事が行われる町並み

所在地 滑川市加島町

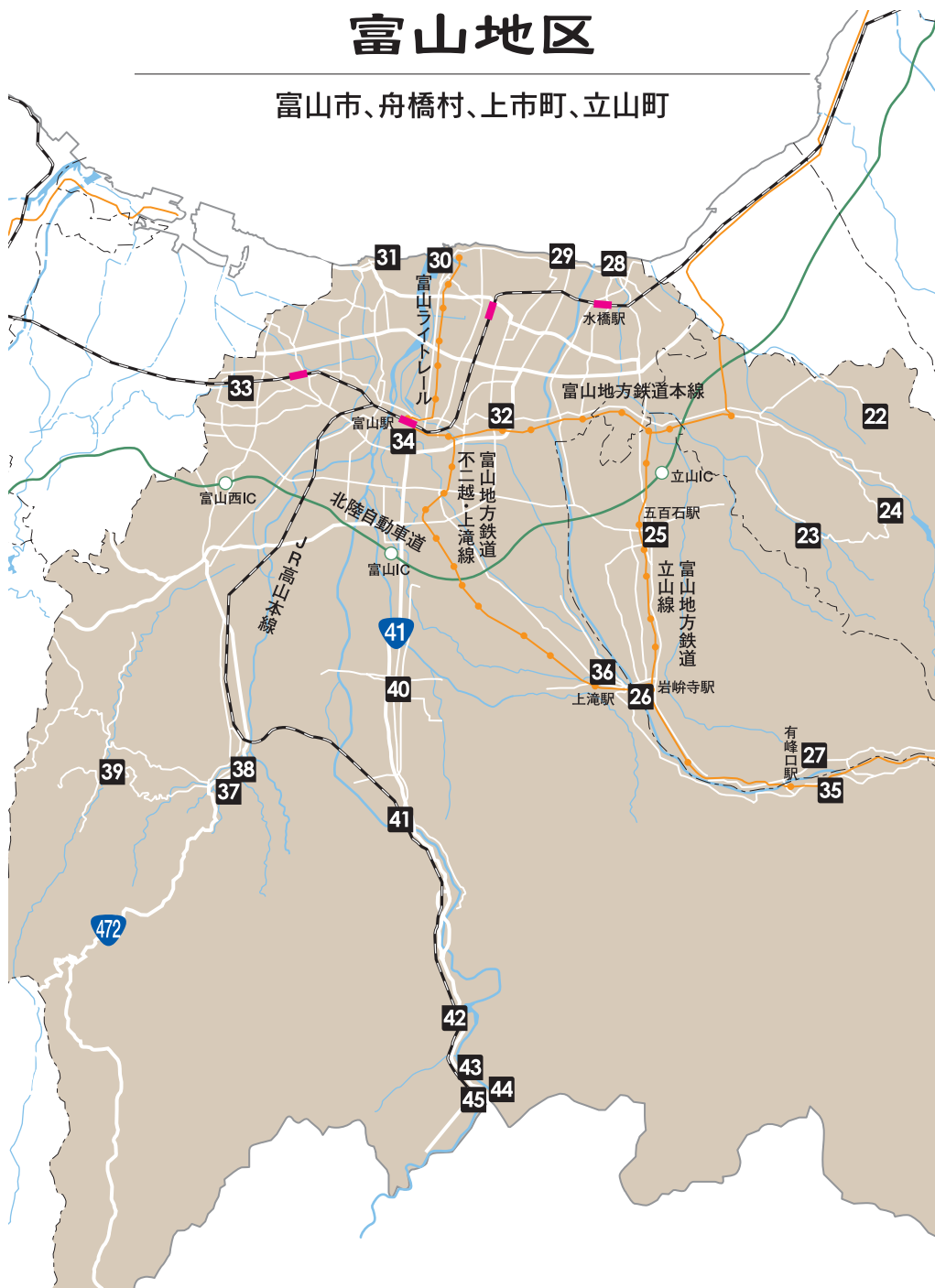
分類 行事

概要 富山湾沿いに走る北陸街道に面して、町家が建ち並んでいる。海岸に面して加積雪嶋神社があり、近世にはここから大岩日石寺や立山道へ繋がる岩嶺寺道が分岐していた。滑川市では唯一の獅子舞が伝承されている地域で、5月21日の加積雪嶋神社の春季祭礼には、能登方面から伝わったとされる百足獅子が賑やかに披露される。

ポイント 加積雪嶋神社と曹洞宗独勝院の周辺に集積された石仏・石標群

富山地区

富山市、舟橋村、上市町、立山町



22

ごいおちく

五位尾地区



山間の農村で、農家の建物や土蔵が建ち並ぶ集落

所在地 中新川郡上市町五位尾

分類 往来・集落、その他

概要 上市川の支流である郷川の最上流で、急峻な山腹にたたずむ山村集落である。山肌に張り付くかのように木造切妻造りの農家や漆喰壁の土蔵が建てられている。畑地や山林を地区の共有財産とし、水田を10年に1回くじ引きによって交代させる「土地割替制度」が近年まで維持されてきた、山間の静寂な集落である。

ポイント 映画「逢いたい」のロケ地

五位尾公民館(旧南加積小学校五位尾分校)



23

おおいわちく

大岩地区



山間の古社の門前に旅館等が参道に建ち並ぶ集落

所在地 中新川郡上市町大岩

分類 その他、往来・集落

概要 白岩川の支流である大岩川の上流の山間部に位置し、真言宗の古刹・日石寺の門前町である。大岩山の中腹に設けられた日石寺まで続く急峻な参道の両脇には旅館や茶店が軒を並べている。建物は重層の木造切妻造りで、白い漆喰壁が美しい。日石寺の本尊である不動明王などの磨崖仏は、平安時代に巨岩の側面に彫られるもので、貴重な山岳信仰の遺産である。

ポイント 大岩日石寺磨崖仏(国有形文化財、国史跡)
映画「劔岳 点の記」ロケ地

24

ひがしたねちく

東種地区



山間の農村で、農家が建ち並ぶ集落

所在地 中新川郡上市町東種

分類 行事、往来・集落

概要 上市川上流左岸の小さな盆地に開けた集落である。周囲は小高い山々に囲まれ、集落を取り囲むかのように棚田が設けられている。白山神社を中心に木造切妻造りの農家が棟を寄せ合い、穏やかな山村景観を醸し出している。戦乱をさけて、山深い地に棲みついていた農民が、中世後期にこの地を開墾して村立てを行ったという伝承がある。

ポイント 東種の獅子舞(とやまの獅子舞百選)
棚田の景観(うるおい環境とやま賞)



25

ごひやくこくちく

五百石地区



東西と南北に走る街道が交叉し、商家が建ち並ぶ町並み

所在地 中新川郡立山町五百石

分類 往来・集落

概要 常願寺川右岸の広大な扇状地の扇中部に立地する商家町である。富山市街から伸びる東西方向の街道と、水橋市街から延びる南北方向の街道が交差するこの地で、文化11年(1814)に町立てがなされた。町名は、当時に開墾された石高に由来している。商家町として発展し、現在でも、商店が所狭ましと通りに軒を並べている。

ポイント 五百石天満社 立山まつり(県内で開始時期の古い町おこしの祭り)



26

いわくらじちく

岩嶺寺地区



山岳信仰の拠点で、古社と民家が建ち並ぶ集落

所在地 中新川郡立山町岩嶺寺

分類 建造物、往来・集落

概要 近世に立山信仰の宿坊として栄えた集落で、24坊の宿坊が全国からの登拝者で賑わった。常願寺川扇状地の扇頂部に位置し、雄山神社前立社壇の南東側に多くの民家が軒を並べている。集落を巡る小路は往時のままで中・近世の石仏や石標が路傍に残されている。中核施設である社殿は中世に建てられた桧皮葺きの豪華な木造建築物で、現在でも多くの参拝者で賑わっている。

ポイント 雄山神社前立社壇（国重要文化財） 岩嶺寺雄山神社の稚児舞（町無形民俗文化財）



27

あしくらじちく

芦嶺寺地区



山岳信仰の拠点で、古社と民家が建ち並ぶ集落

所在地 中新川郡立山町芦嶺寺

分類 建造物、往来・集落

概要 中世には山岳信仰の集落として、近世には立山信仰の宿坊の集落として栄えた。常願寺川上流の右岸の河岸段丘上で、800m程に細長く民家が建ち並ぶ。近世の宿坊は三十三坊・五社人と呼ばれ、全国から参拝者を受け入れて賑わっていた。芦嶺寺雄山神社や閻魔堂の建物に往時の活気的一端を偲ぶことができる。

ポイント 芦嶺寺雄山神社境内杉林（県天然記念物） 布橋灌頂会（彼岸の中日に行われた女人救済行事）

28

みぎはしちく

水橋地区



北陸街道沿いで、廻船問屋の残る歴史的な町並み

所在地 富山市水橋辻ケ堂、水橋町

分類 往来・集落

概要 白岩川の河口をはさんで両岸に町家が建ち並ぶ北陸街道の宿駅である。河口港として町場を形成し、近世には加賀藩の藩米の積み出し港として、さらに北前船の寄港地として、近代まで大いに栄えた。木造切妻造り二階建て平入りの家屋が、現在でも狭く直角に折れ曲がった街道の両脇に軒を並べており、水や海運に係る多くの神社などとともに往時の繁栄を偲ばせている。

ポイント 水橋橋祭り(明治2年から続く架橋記念行事)
水橋神社(北前船の絵馬など)



29

はまくろさきしゅうへん

浜黒崎周辺



北陸街道沿いで、往還松並木の残る町並み

所在地 富山市浜黒崎

分類 往来・集落

概要 富山湾の海岸線に沿って東西に走る北陸街道で、往来の両側には、慶長年間に加賀藩二代藩主の前田利長が整備した往還松並木が現存する。約8kmにわたる松並木で、北側の浜辺に延びる松原、南側の水田地帯越しの立山連峰といった美しい眺望が楽しめる。古い家並は失われているものの、路傍の石仏に基幹道路としての面影を偲ぶことができる。

ポイント 浜黒崎の松並木(県天然記念物)
古志の松原からの立山連峰遠望

30

ひがしいわせまちく

東岩瀬町地区



典型的な北前船の廻船問屋が建ち並ぶ歴史的な町並み

所在地 富山市東岩瀬町

分類 建造物、往来・集落

概要 近世に加賀藩の御蔵がおかれ、北前船の積み出し港として賑わった港町であるとともに、神通川の河口に設けられた北陸街道の宿場町としても重要な役割を果たした。往来には廻船問屋として栄えたいくつもの大きな町家が軒を並べるが、いずれも木造二階建の切妻造りで、大戸と出格子窓の上に柿葺の庇を付け、堂々とした構造と意匠で建設されている。

ポイント 旧森家住宅(国重要文化財)
岩瀬曳山車祭(とやまの祭り百選)



31

よこたにしいわせまちく

四方西岩瀬地区



湊町で、北前船の寄港地として賑わった町並み

所在地 富山市四方西岩瀬

分類 往来・集落

概要 近世に富山藩の米蔵や塩蔵が置かれ、藩米などの積み出し港として、また、北前船の寄港地として賑わった港町である。西岩瀬諏訪社の大けやきは北前船の灯台の役目を果たしたといわれる。神通川の左岸河口に位置し、近世には富山湾沿いに設けられたいわゆる浜往来の宿駅であった。約400mの往来の両側には、木造切妻造りの家屋が現在でもわずかながら軒を並べている。

ポイント 西岩瀬諏訪社の大けやき(県天然記念物)
四方の曳山

32

しんじょうまちしゅうへん

新庄町周辺



北陸街道沿いで、薬種商の商家などが建ち並ぶ町並み

所在地 富山市新庄町

分類 往来・集落、建造物

概要 富山と水橋をつなぐ旧北陸道の街道筋の町並みである。旧金岡家住宅は近世に薬種業を営んだ商家で、通りに面した広いミセなど室内意匠等が群を抜いている。往来に面する住宅門は賓客用に開かれた門で、屋根にムクリをつける意匠が目を引く。古刹の曹洞宗全福寺の正面で街道は鍵型に直角に折れ曲がる。街道の道標が立ち、境内には近世に据えられた越中万葉の歌碑が存在する。

ポイント 旧金岡家住宅(国登録有形文化財)
どべ祭り(とやまの祭り百選)



33

がんかいじちく

願海寺地区



北陸街道沿いで、往来の屈曲がそのまま残る町並み

所在地 富山市願海寺

分類 往来・集落

概要 中世から近世にかけて富山利伽羅峠を結ぶ最短ルートであった旧北陸道の街道筋の集落である。「願海寺の七曲がり」と呼ばれるように、集落の中を何度も直角に曲がりながら街道が走っている。元禄時代の句集に往来の様子が詠まれており、秋空に映える黄金色の田園風景が描写されている。道路脇には石碑や石地藏が保存されている。

ポイント 願海寺城跡(とやまのお城百選)
呉羽山丘陵の遠望

34

しんそろがわしゅうへん

新総曲輪周辺



富山都市計画事業の都市景観で近代建築の町並み

所在地 富山市新総曲輪

分類 その他、建造物、往来・集落

概要 国内でも比較的初期に策定された富山都市計画事業は、富山湾と市街を結ぶ運河の開削、市街地の街路整備、廃川地の土地区画整理で構成された計画であった。運河の掘削土は廃川地の埋め立てに利用され、新たな官庁街が形成された。富山県庁、電気ビル、松川、桜橋など昭和初期に建設された構造物が現在も稼動しており、県都の中心市街地の都市景観を形成している

ポイント 富山県庁舎(とやまの近代歴史遺産百選)
電気ビル(同)



波線部が昔の神通川の川筋



富山県庁舎



桜橋



富岩運河、中島閘門



電気ビル

35

ほんぐらちく

本宮地区



立山温泉道沿いにあり、山麓に残る山村の集落

所在地 富山市本宮

分類 往来・集落

概要 常願寺川中流の左岸河岸段丘上に立地する山村集落である。亀谷往来ともいわれる立山温泉道は常願寺川左岸沿いに設けられた湯治路であり、近世後期の文化年間から明治時代まで、立山カルデラ内にあった立山温泉への湯治客の往来でおおいに賑わったという。背後の急峻な山腹のうっそうとした樹林とわずかに残る木造切妻造りの家屋が静かな集落景観を醸し出している。

ポイント 本宮砂防ダム(国登録有形文化財)
富山市大山歴史民俗資料館



36

かみだきちく

上滝地区



立山街道沿いにあり、商家などの残る町並み

所在地 富山市上滝

分類 往来・集落

概要 常願寺川扇状地の扇頂部に位置し、立山登拝の立山往来に面する集落である。近世中期に九斎市が開かれた市場町として発展し、山間部で生産された林産物の集積地としても賑わいを呈した。近代には常願寺川の河川工事の拠点として、旅館などの施設が設けられた。土蔵造りや切妻造りの商家で平入りの豪壮な民家が軒を並べている。

ポイント 上滝発電所(国登録有形文化財) 上滝不動尊境内の大アカガシ(県天然記念物)



37

やつおまちすわまちほんどり

八尾町諏訪町本通り



石畳の商家町で、おわら風の盆と曳山行事の行われる町並み

所在地 富山市八尾町諏訪町

分類 行事、往来・集落

概要 八尾町は井田川右岸の河岸段丘上に立地する商家町で、寛永13年(1636)に町立てされ、越中と飛騨を結ぶ物資の交易拠点として賑わった。諏訪町は延享2年(1745)の町立てで、現在は400m程の石畳の両側に、木造切妻造り二階建て平入りの民家が軒を並べる。通りの両側には雪流しの側溝が設けられる。町並みは春の曳山、秋のおわら風の盆の舞台として活気があふれる。

ポイント おわら風の盆(とやまの祭り百選) 八尾町祭
礼曳山(県有形民俗文化財)



38

やつおまちにしまちゅうへん

八尾町西町周辺



井田川沿いの高い石垣の上に軒を並べる町並み

所在地 富山市八尾町西町

分類 その他

概要 寛永13年(1636)に井田川右岸の河岸段丘上で町立てされた際には、二筋の通りによって、西町と東町が設けられた。西町の家並みが連なる西側の段丘壁には、高さ10m程の丸石積みの石垣が続いている。左岸からの石垣越しの家並みは、水平な石垣と町家のスカイラインがバランス良く調和し、冬季のライトアップにより一層幻想的な光景が演出される。

ポイント 聞名寺(浄土真宗の古刹)
山吹橋(日本の近代土木遺産2800選)



39

やまだおんせん

山田温泉



山間の一軒宿の温泉と農村の集落

所在地 富山市山田湯

分類 往来・集落

概要 井田川の支流である山田川の上流右岸に位置する一軒宿である。15世紀の永享年間の開湯と伝承される。近くに牛嶽社が鎮座しており、南西にそびえる牛嶽信仰とともに旅人で賑わいを呈した。元禄9年(1696)には富山藩二代藩主の前田正甫がこの温泉に遊び、温泉亭、山田川、薬師堂、花久塚、方便水、虹霓滝、鏡が窪、蝙蝠屈を山田八景として漢詩を詠んでいる。

ポイント 今山田の大かつら(県天然記念物)
山岳信仰の牛岳(987m)



40

おおくぼちく

大久保地区



飛騨街道沿いで、家々がゆったりと並ぶ「路村」の集落

所在地 富山市下大久保、上大久保

分類 往来・集落

概要 神通川右岸の中位河岸段丘上に位置し、近世に開発された集落である。大久保道ともいわれる飛騨街道沿いに、ほぼ直線状に並んだ町並みが形成されており、集落形態から「路村」とも呼ばれている。軒と軒が連続せず、一軒の敷地面積が比較的ゆったりとし、周囲に樹林や堀垣などをめぐらした木造切妻造りで平入りの家屋が現在でも多く残されている。

ポイント 大久保高砂山曳山(市有形民俗文化財)
越中万葉の歌碑(下大久保八幡社)



41

ささづちく

笹津地区



飛騨街道沿いの交通の要衝で、商家などの残る町並み

所在地 富山市笹津

分類 往来・集落

概要 飛騨の山間部から富山湾に向かって北流する神通川の右岸で、富山平野の谷口に立地する。街道の要衝であるとともに神通川の渡川集落として近世から近代にかけて発展した。近代には鉱山への荷馬車のターミナルとして、旅館や商店が建ち並んで賑わいを呈した。近世の街道筋そのままの往来であり、僅かに残された木造切妻造りの商家にかつての繁栄を偲ぶことができる。

ポイント 笹津橋（国登録有形文化財）
笹津の獅子舞（とやまの獅子舞百選）



42

かたかけちく

片掛地区



飛騨街道沿いで、山間に家屋が建ち並ぶ農村集落

所在地 富山市片掛

分類 往来・集落

概要 越中と飛騨を結ぶ飛騨街道西道の宿場町であり、東側を神通川が大きく蛇行する山間部の中腹に立地する。近世初期には富山藩の経営する片掛銀山の拠点集落として機能し、肝煎りなどの役宅が置かれたとされる。古刹の寺院が3寺もある。約400mの往来の両側に、木造切妻造り二階建てで正面に庇を付け、二階を漆喰壁で化粧した家屋が建ち並ぶ。

ポイント 八坂社の絵馬（市有形文化財）、大淵寺、円竜寺の軸装（市有形文化財）



43

いのたにちく

猪谷地区



飛騨街道沿いで、交通の要衝として民家などが残る集落

所在地 富山市猪谷

分類 往来・集落

概要 神通川左岸の河岸段丘上に立地する飛騨街道西道の集落で、近世に富山藩の西猪谷関所が設けられた交通の要衝である。近代においても国鉄神岡線と高山線の分岐する猪谷駅が設けられ、越中と飛騨の国境の要衝として機能した。集落を南北に走る街道の両脇には、僅かながら木造切妻造りの民家が存在し、路傍には石仏や石標が残されている。

ポイント 富山市猪谷関所館

横山楡原衝上断層(国天然記念物)



44

ひがしのたにちく

東猪谷地区



飛騨街道沿いで、切妻造り平屋建ての民家が残る農村集落

所在地 富山市東猪谷

分類 往来・集落

概要 神通川右岸の河岸段丘上に立地する飛騨街道東道の集落で、近世に加賀藩の東猪谷関所が設けられた。近代には笹津と神岡を結ぶ馬車軌道の中継地となり、上り車と下り車の馬の交換が行われ、車庫や馬屋が設けられていたという。木造切妻造り平屋建平入りで、正面に庇が付く素朴な民家が残されている穏やかな山村集落である。

ポイント 旧神岡馬車軌道(とやまの近代歴史遺産百選)

45

かにでらちく

蟹寺地区



飛騨街道沿いで、山間にたたずむ農村集落

所在地 富山市蟹寺

分類 往来・集落

概要 宮川左岸の河岸段丘上に立地する飛騨街道西道の集落で、近世には対岸とは籠の渡しで結ばれていた。越中と飛騨をつなぐ街道の岐路にあたる。飛騨から北流する宮川と高原川はこの集落のやや下流で合流し、神通川となって富山平野を流れ下る。近世には、紀行文や安藤広重の版画などに取り上げられ、天下の奇勝とされた。僅かに残る切妻造りの民家が往時を偲ばせている。

ポイント 蟹寺発電所(大正14年建設の「日本の近代土木遺産2800選」)
「蟹寺の籠の渡し」(猪谷関所館に資料)



ちよつと コラム

町並みの魅力 どうして、歴史的町並みは美しいのか。

重厚な構えや趣のある格子窓など建物が持つ美しさと軒先や玄関の造りなどの統一性や連続性が見事に調和しているからでしょう。さらに、そこに暮らして歴史や伝統を守る人々の心意気を感じるからかもしれません。

今風の建物が散発的に建てられ、派手な看板や電飾に溢れるなど、ついこの間まで見られた懐かしい風景は急速に変化しています。また、生活様式の変化や住民の高齢化などが町並みや伝統の維持を困難にしています。

この本を手にとった機会に、自分の育った見慣れた町並みの魅力を再発見し、その町並みを作ってきた地域の歴史を見つめ直してみませんか。

46

えびえちく

海老江地区



浜往來の漁村で、北前船の拠点でもあった町並み

所在地 射水市海老江

分類 行事、往来・集落

概要 近世に浜往来と呼ばれた海岸線に沿った街道に成立した漁村で、約1kmの長さで東西に細長く家並みが形成されている。木造切妻造り二階建てで平入りの家屋が現在でも所々に残されており、地藏堂も多く見られる。近世には北前船の交易でも栄えた地区で、毎年9月には3基の曳山が小路を縫うように曳き廻される。

ポイント 海老江加茂社祭礼曳山車(市有形民俗文化財) 海老江中町の獅子舞(とやまの獅子舞百選)



47

はちまんまちちく

八幡町地区



浜往来沿いで、古社の門前に家並みが続く町並み

所在地 射水市八幡町

分類 行事、往来・集落

概要 中世から港町として町並みが設けられ、近世には浜往来での最も大きな宿駅として栄えた。富山湾にそって約1kmの長さで東西に細長く家並みが形成されている。比較的大きな木造切妻造り二階建ての北前船廻船問屋も現存しているが、往来の一部は昭和5年の大火後に拡幅されている。毎年10月には13基の曳山が華やかに町内を曳き廻される。

ポイント 放生津八幡宮の築山行事(県無形民俗文化財) 放生津八幡宮拝殿(市有形文化財)

48

ほんまちく

本町地区



北前船の大きな廻船問屋と商家の町並み

所在地 射水市本町3丁目

分類 往来・集落

概要 近世には市街地の南端に位置していた町並みで、南側には広大な水田が広がっていたという。宮林家は近世末から明治時代にかけて栄えた北前船の廻船問屋で、約60m四方の敷地の周囲を幅約8mの堀が廻り、荷を積んだ伝馬船が蔵の脇に横付けすることができた。隣接する浄土真宗の専念寺には、近世後期の本堂と鐘楼や山門などが現存する。

ポイント 専念寺の傘松（県天然記念物）・銅鐘（県有形文化財）



49

ほうじょうづまちく

放生津町地区



浜往来沿いで、商家と民家が建ち並ぶ町並み

所在地 射水市放生津町

分類 行事、往来・集落

概要 六渡寺から西岩瀬までを結ぶ近世の浜往来に沿って、約700mの長さで細長く家屋が軒を並べている。通りには地藏堂、古社やわずかながら木造切妻造り二階建の家屋が現存している。毎年10月には放生津八幡宮祭礼の13基の曳山が、往来を曳き廻される。松尾芭蕉の『奥の細道』など、近世には多くの文人がこの往来を通り、当時の情景を記録に残している。

ポイント 放生津八幡宮祭礼曳山車（市有形民俗文化財）
奈呉の浦（海岸）からの立山連峰の遠望

50

しょうせいまちちく

庄西町地区



近代の港湾に面し、洋風建築と倉庫が建ち並ぶ町並み

所在地 射水市庄西町1丁目

分類 行事、建造物

概要 かつては六渡寺と呼ばれた港町で、東西に流れる内川の北側では六渡寺日枝神社を中心として木造の民家が群集し、南側では近代に設けられた倉庫群、港湾施設や褐色レンガ貼りの牧田組本社などが現存している。近世には北前船の寄港地として栄え、近代の港湾整備によって近代建築や切妻造りの倉庫群が建ち並ぶ都市景観が形成された。

ポイント 六渡寺の獅子舞（とやまの獅子舞百選）
牧田組本社（国登録有形文化財）



51

うちかわしゅうへん

内川周辺



運河の機能を果たす内川沿いに倉庫や町屋が建ち並ぶ町並み

所在地 射水市放生津町、八幡町、立町、中央町、本町

分類 その他

概要 かつて放生津の市街地の南側に広がっていた放生津潟の吐水河川で、富山湾へつながる重要な水上交通路であった。近世以降は、北前船の廻船問屋や漁業の小型和船が係留され、また貯木場として利用された。現在は両岸に土蔵造りの倉庫や町家が建ち並び、東西橋、三王橋、神楽橋など独特のデザインの橋群とともに、県内では珍しい運河景観を呈している。

ポイント 大楽寺（国登録有形文化財）
内川からの立山連峰遠望



52

かもちゅうぶちく

加茂中部地区



北陸街道の宿駅で、往来で伝統行事が行われる町並み

所在地 射水市加茂中部

分類 行事、往来・集落

概要 富山城下を北側に迂回するために近世初めに設けられた、北陸街道沿いの宿駅である。約600mの往来の両側にアズマダチなど大型の建築物が建ち並んでいる。沿道には古代までに創設が遡る加茂神社と福王寺があり、参詣者で活気を呈した。下村加茂神社の春季祭礼では走馬に、秋季祭礼では稚児の巡行に往来が賑わう。

ポイント 下村加茂神社の稚児舞(国無形民俗文化財)
下村加茂神社やんさんま(県無形民俗文化財)



53

ひばりちく・てさきちく

戸破地区・手崎地区



北陸街道沿いで、渡川の拠点の町並み

所在地 射水市戸破、手崎

分類 往来・集落

概要 東西に走る北陸街道の下条川右岸の町並みで、約1kmの長さで家並みが形成されている。近世には下条川を利用した舟運によって、商品等が搬入され商店街として発達した。現在はわずかながら往来に、木造切妻造りの商店や大正時代の洋風建築である旧小杉郵便局などが軒を並べている。往来の東端には街道の分岐を示す石標が現存している。

ポイント 旧小杉郵便局(とやまの近代歴史遺産百選、映画『大河の一滴』のロケ地)

54

さんがちく・ひばりちく

三ヶ地区・戸破地区



北陸街道沿いで、土蔵造りや木造民家が建ち並ぶ町並み

所在地 射水市三ヶ、戸破

分類 建造物、往来・集落

概要 東西に走る北陸街道の下条川左岸の町並みで、約1.5kmの長さで家並みが形成されている。往来はほぼ近世の道筋そのままであり、両側には間口の狭い妻入りの民家が密集している。下条川左岸では鍵型の屈曲が残り、真言宗の古刹・蓮王寺と、絵馬が多く奉納されている十社大神が建立されており、近世には多くの参拝者で賑わったという。

ポイント 小杉展示館(国登録有形文化財)

三ヶ錦町の獅子舞(とやまの獅子舞百選)



55

くろかわちく

黒河地区



古い北陸街道沿いの集落で、民家が建ち並ぶ町並み

所在地 射水市黒河、黒河新

分類 往来・集落、行事

概要 中世から近世にかけて富山と倶利伽羅峠を結ぶ最短ルートであった旧北陸道の街道筋の町並みである。往来は太閤山の丘陵沿いに東西方向で走り、約800mの長さで町並みが続く。わずかながら切妻造り妻入り家屋が通りに残り、小型の行燈を灯した作り物を曳き廻す黒河夜高祭が、毎年8月下旬に行われる。

ポイント 黒河夜高祭(市無形民俗文化財)

黒河の獅子舞(とやまの獅子舞百選)



56

みとだちく

水戸田地区



古い北陸街道沿いの宿駅で、民家が建ち並ぶ町並み

所在地 射水市水戸田

分類 往来・集落

概要 太閤山の丘陵沿いに砺波平野から富山に延びる旧北陸道の街道筋の宿駅である。近世には高札場や道番などが設けられたという。往来はほぼ往時のままの道筋で、約1kmの長さで家並みを形成している。明治時代の大火などの影響で、近代的な民家が建ち並ぶものの、一里塚、地藏堂や古刹であった旧密蔵寺などに往来の旅人の姿を偲ぶことができる。

ポイント 草相撲力士の供養塔



57

だいもんちく

大門地区



北陸街道沿いの渡川の拠点で、商家や民家の家並みが続く町並み

所在地 射水市大門新、大門

分類 行事、往来・集落

概要 北陸街道沿いで、庄川右岸の橋詰めに発達した商家町である。承応2年(1653)に町立てされ、大門地域の中心繁華街として賑わった。現在でも料亭や商店街が多く、木造切妻造り二階建て、間口が狭く奥行きのある平入りの建物が軒を並べている。正面の外壁をデザインされた銅版で覆うものも多い。10月には飾り付けられた曳山が往来を巡行する。

ポイント 大門神社・枇杷首神社秋季祭礼曳山車(市有形民俗文化財)



58

ふたぐちちく

二口地区



熊野往来沿いの集落で、伝統的な民家が建ち並ぶ町並み

所在地 射水市二口

分類 往来・集落

概要 かつて水戸田地区に存在した熊野社への参拝路で、500m程の長さで南北に延びている。地元では熊野往来と呼ばれている。往来を挟んで町並みが形成され、現在でもアズマガチが通りに妻を向けてゆったりと建ち並ぶなど、比較的、大型の民家が目を引く。熊野神社では9月の秋季大祭に、町内を巡行した神輿と獅子舞が境内で火渡りを行う。

ポイント 熊野神社秋季例大祭(二口熊野社・火渡り神事)



59

ふしきみなとまちちく

伏木湊町地区



近代の港湾に面し、洋風建築と土蔵造り建物が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市伏木湊町

分類 建造物、往来・集落

概要 小矢部川の河口に設けられた伏木港に沿った港町で、近世には藩米の積み出し港として、また北前船の寄港地としておいに栄えた。明治時代以降、港湾の近代化に伴い建てられた洋風の事務所建築と、様々な文様が細工された銅板での看板建築が多く軒を並べる。土蔵造りの外装に銅板を用いた建築物も目立つ。県内ではハイカラ建築が最も密集する町並みである。

ポイント 高岡商工会議所伏木支所(国登録有形文化財) 伏木港(中世の三津七湊のひとつ)

60

ふしきほんまち・ふしきちゅうおうまちちく

伏木本町・伏木中央町地区



商家町で、廻船問屋が軒を並べる町並み

所在地 高岡市伏木本町、伏木中央町

分類 建造物、往来・集落

概要 近世中期以降、伏木は北前船の湊として栄え、七軒問屋といわれた大きな廻船問屋を始めとする北前船の商家などが軒を並べた。伏木本町と伏木中央町は小路を挟んで両側に民家が建ち並び、木造切妻造り二階建てで平入りの正面に格子を据えた建築物が現存する。棧瓦葺となっているが、本来は板葺きの落ち着いた町並みであった。

ポイント 伏木神社春季例大祭の祭礼行事（市無形民俗文化財） 谷村家住宅（国登録有形文化財）



61

ふしきふるこくふちく

伏木古国府地区



古刹・勝興寺の門前町で、寺院、廻船問屋などが建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市伏木古国府

分類 建造物、往来・集落

概要 浄土真宗の古刹・勝興寺は天正12年（1584）に伏木の現在地に安堵され、その東側に門前町が形成された。参拝者で賑わいを呈したものの、伏木港の至近地に立地していたことから、海運業に携わる住民の民家が軒を並べた。旧秋元家住宅は、望楼と土蔵を有する大きな北前船廻船問屋の建物である。勝興寺は境内に12棟もの建物を配する巨大な真宗伽藍が現存する。

ポイント 勝興寺（国重要文化財）
勝興寺御満座法要（とやまの年中行事百選）

62

よしひさちく

吉久地区



浜往来沿いで、伝統的な木造切妻造りの町家が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市吉久

分類 建造物、往来・集落

概要 富山湾沿いのいわゆる浜往来に位置する町並みである。小矢部川の河口近くで、南北に約500mの長さで町並みが延びる。加賀藩の御蔵が置かれ、北前船で藩米などが搬出された。通りの両側には近代末から近世にかけて建てられた、木造切妻造り二階建平入りで、正面に格子を嵌め込んだ美しい民家が連続する。家並みの棟ラインが見事に整い、整然とした町並みを形成している。

ポイント 吉久の獅子舞(とやまの獅子舞百選)
能松家住宅(国登録有形文化財)



63

きまちちく

木町地区



河川の舟運の拠点となった商家町で、小路に木造建築が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市木町

分類 往来・集落

概要 慶長14年(1609)に高岡の町立てにあたり、城下町建設のための木材等の資材の集積場として設けられた町並みで、小矢部川と千保川の合流地の右岸に位置する。近世には舟運と陸運に関係する商人、運搬業などの町家が軒を並べた。現在も鍵字に折れ曲がる小路に建築物が密集しており、往時の賑わいを伝えている。

ポイント 木町の獅子舞(とやまの獅子舞百選)
木町神社の御書祭(とやまの年中行事百選)



64

ぎょうまちちく

京町地区



氷見街道沿いで、商家が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市京町

分類 建造物、往来・集落

概要 千保川の右岸に沿って南北約300mの長さで細長く延びる町並みである。高岡と氷見を結んでいた氷見街道に沿い、細い小路に家屋が密集する。往来には、外壁に様々な文様が細工された銅板化粧の建物や、明治に建てられた木造切妻造り二階建平入りで、表に厚板の庇を付けた豪壮な造り酒屋などが軒を並べている。

ポイント 清都酒造場（国登録有形文化財）



65

ほんまるまちちく

本丸町地区



高岡城の城下町で、外濠沿いに家屋が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市本丸町

分類 往来・集落

概要 関野の台地上で、慶長14年（1609）に前田利長によって24haの大きな外堀を持つ高岡城が設けられた。本丸町は池の端濠と呼ばれる西外堀に面して約600mの長さで南北に連なる町並みである。城域の豊かな緑に調和して宅地に樹木や生垣が設けられ、棟方向を南北に揃えた家屋が建ち並ぶ。樹林、水濠、家並みが調和した美しい町並みを形成している。

ポイント 高岡城跡（県史跡）
池の端通り景観形成重点地区

66

さかしらまちちく

坂下町地区



商家町で、往来から高岡大仏の眺望できる町並み

所在地 高岡市坂下町

分類 その他、行事

概要 近世に高岡城の西側のゆるやかな段丘崖に成立した町屋である。高岡大仏として知られる銅造阿弥陀如来坐像は、明治33年（1900）の大火により木造大仏が焼失した後、昭和8年（1933）に高岡銅器職人によって造られたものである。200m程の商店街から見上げた位置に鎮座する大仏の眺望は、高岡の歴史的景観のひとつとなっている。

ポイント 高岡御車山（国重要有形民俗文化財、国重要無形民俗文化財） 銅造阿弥陀如来坐像（市有形文化財）



67

すえひろまちちく

末広町地区



高岡城の城下町で、伝統的な建造物と七夕祭りが彩る町並み



所在地 高岡市末広町

分類 行事、その他

概要 千保川の右岸で高岡城の西側桁形の一角に位置する。関野神社とその周囲の町並みで形成され、JR高岡駅前広がる高岡の中心街である。木造寄棟造りの豪勢な旅館や切妻造りの落ち着いた家屋などが残る。8月には近世から続くとされる約1000本の大きな七夕飾りが往来に飾り付けられる。井上靖や木崎さと子の小説の舞台ともなっている。

ポイント 高岡七夕祭り（とやまの祭り百選）
与四兵衛祭り（とやまの年中行事百選）

68

やまちょうすじ

山町筋



北陸街道沿いで、豪壮な土蔵造りの商家が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市守山町、小馬出町、御馬出町、木舟町、一番町、源平町、元町

分類 建造物、往来・集落、行事

概要 北陸街道に沿って形成された近世初期から繁栄する商家町である。明治33年(1900)の大火後、土蔵造りの町並みとして再興された。町割は、東西約600m、南北約90mの広さで、民家は、外壁を漆喰で塗り込める切妻造り二階建平入りの瓦葺の構造を持つ。レンガ造りの防火壁を突出させるものや、正面に格子戸や格子窓を付ける建築物も多い。

ポイント 高岡御車山(国重要有形民俗文化財、国重要無形民俗文化財)
山町筋(国重要伝統的建造物群)



69

かもじまちく

鴨島地区



高岡城の城下町で、商家が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市鴨島

分類 往来・集落

概要 千保川の右岸で、山町筋の西側に一団のまとまりを持って家屋が連なる町並みである。鴨島は千保川とその分流によって囲まれていた小さな中州に立地していた。明治33年(1900)年の大火で建物の大半が焼失し、その後建てられた商店が往来の両脇に隙間なく建ち並ぶ。とりわけ仏壇店が多く軒を並べている地区である。

ポイント 鴨島町の大旗

70

かなやまちく

金屋町地区



城下町で、鋳物職人の建物が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市金屋町

分類 建造物、往来・集落、行事

概要 慶長14年（1609）の高岡の町立てにあたり、前田利長が鋳物師を招いて設けた職人町である。通りは千保川に沿って300m程延び、両側に木造切妻造り平入りで、両端に袖壁の付いた美しい建物が軒を並べる。正面は格子戸で一階の庇は板葺、二階正面の梁や束は白漆喰壁で塗り込められている。6月には鋳物師の作業歌「弥栄節」が歌い踊られる町流しは風情がある。

ポイント 御印祭（とやまの祭り百選）
高岡市鋳物資料館



71

よこたちく

横田地区



北陸街道沿いの渡川の集落で、古社や家屋が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市横田

分類 建造物、往来・集落

概要 北陸街道に沿った町並みで、近世には小矢部川と千保川の挟まれた農村であった。小矢部方面から北進してきた北陸街道は、有磯八幡宮前で直角に東へ折れ曲がり、千保川へ向う。千保川にはかつて舟橋が架けられていたという。横田地区は高岡への入り口として、水陸交通の要衝であった。往来には切妻造り平入りの細長い家屋が軒を並べ、統一された家並みを形成している。

ポイント 有磯八幡宮（国登録有形文化財）

72

はっちょうみち

八丁道



古刹・瑞龍寺と藩主の菩提寺を結ぶ通りのある町並み

所在地 高岡市東上関、芳野、駅南2丁目、3丁目、4丁目

分類 建造物、往来・集落

概要 加賀藩二代藩主の前田利長の墓所と、その菩提寺で曹洞宗の古刹・瑞龍寺とを結ぶ約800mの直線の参道である。近世初期に設けられた際には、道の両脇に石灯籠が並ぶ往来として整備された。寛永15年(1636)銘の三十数基の石灯籠が確認されている。現在は石畳の歩道の脇に植樹と新たな石灯籠が修景され、往時を偲ばせる落ち着いた参道となっている。

ポイント 瑞龍寺(国宝) 前田利長墓所(国史跡)



73

わだちく

和田地区



北陸街道沿いの農村で、民家が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市和田

分類 往来・集落

概要 小矢部川と千保川に挟まれ、北陸街道に沿った集落であった。慶安2年(1649)に町立てされ、周囲の新田が開発された。町立ての功労者である肝煎の佐助を偲んで、佐助祭とも呼ばれる御印祭が住民によって10月に行われる。往来には、木造切妻造り二階建てで、正面に狭格子を付けたいくつかの家屋が軒を並べている。

ポイント 和田神明社の御印祭(とやまの年中行事百選)
荊波神社の越中万葉歌碑



74

たてのちく

立野地区



北陸街道沿いの宿場町で、伝統的な木造家屋が建ち並ぶ町並み

所在地 高岡市立野

分類 往来・集落

概要 小矢部川右岸で北陸街道に沿った宿場町であった。加賀藩の御蔵も置かれていた。ほぼ南北に走る約1kmの往来には、寺町、御宝町、高札町、御蔵町、鍛冶屋町などの字を持つ町並みが続いている。所々に、正面に板葺きの庇を持つ木造切妻造りの白漆喰壁の家屋や、地蔵などの石仏が残り、往時の街道の風情を偲ばせている。

ポイント 立野上町の獅子舞(とやまの獅子舞百選)
西念寺の御開帳(太子伝会)(とやまの年中行事百選)



75

なかだちく

中田地区



砺波平野を東西に走る街道が交差する渡川の要衝で、商家の町並み

所在地 高岡市中田

分類 往来・集落

概要 庄川の右岸に位置し、近世には砺波平野を東西に走る北陸街道と南の井波へ通じる街道の要衝であった。宿駅として御旅屋、御蔵や渡船場などが置かれ、九斉市も開かれた。往来には木造切妻造りの家屋が所々に残る。伊東家住宅は昭和前期に建てられた木造建築で、住宅建築設計の先駆けとして知られる山田醇が設計し、柱と梁を表した妻に伝統的な美しさを醸し出している。

ポイント 中田かかし祭
伊東家住宅(国登録有形文化財)



76

どいでまちゅうへん

戸出町周辺



砺波平野を東西に走る街道が交叉する要衝で、七夕飾りが彩る町並み

所在地 高岡市戸出町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目

分類 行事、往来・集落

概要 砺波平野のほぼ中央部に位置し、元和3年(1617)に町立てされた。近世には、砺波平野を南北と東西に走る街道の交叉する交通の要衝であった。御旅屋や御蔵が設けられ、農村経済の拠点として町家が軒を並べた。JR戸出駅前周辺は狭い小路に家屋が密集し、所々に木造切妻造りの建築物が残されている。往来には7月に、華やかな七夕飾りが据え付けられ、夏の風物詩となっている。

ポイント 戸出七夕まつり(とやまの祭り百選)
戸出御旅屋の門(市有形文化財)



77

ふくおかまちふくおかちく

福岡町福岡地区



北陸街道沿いの商家町で、伝統的な木造家屋の町並み

所在地 高岡市福岡町福岡

分類 往来・集落、行事

概要 小矢部川の右岸に位置し、近世前期に町立てされ、北陸街道の商家町として栄えた。近隣の農産物等が集積され、とりわけ特産物として全国に販売された菅笠の間屋街が形成された。現在も木造切妻造り二階建て、正面の一階に格子を、二階に白漆喰で化粧をした美しい建物が残される。9月には地藏祭りから発展したつくりもん祭りが往来を彩る。

ポイント 越中福岡の菅笠製作技術(国無形民俗文化財) つくりもんまつり(とやまの祭り百選)

78

じぞろまちちく

地蔵町地区



能登へ続く海浜道沿いで、漁村集落の町並み

所在地 氷見市地蔵町

分類 往来・集落

概要 古代から能登と越中を結ぶ基幹の路線は、現在の氷見市街を南北に走っており、氷見の町並みは交通、軍事、商業、漁業などで栄えた。近代の度重なる大火で都市計画が進められたが、地蔵町地区には、表に狭格子を持つ木造切妻造り平入りの民家がいくつか残されている。富山湾に面する地区であり、かつての漁業に従事した浦方民家の様相を偲ばせている。

ポイント 有磯海の眺望 古くから続く地曳網



79

あさひほんまちしゅうへん

朝日本町周辺



古刹の伝統行事が行われる町並み

所在地 氷見市朝日本町、幸町

分類 行事

概要 4月に行われる奇祭「ごんごん祭り」の会場は真言宗の古刹で朝日本町にある上日寺である。近世の雨乞い祈願に起源とされるこの祭りは、日吉神社での参詣の後、上日寺で大木を担いだ参拝者が梵鐘を打ち鳴らす行事である。また千手寺では、丸鬘を結った女性による「まるまげ祭り」が4月に行われる。遊女の救済を祈願した祭りである。両者は町並みと祭りが見事に調和した春の風物詩となっている。

ポイント ごんごん祭り(とやまの祭り百選)
まるまげ祭り(とやまの祭り百選)



80

みなみおおまちゅうへん

南大町周辺



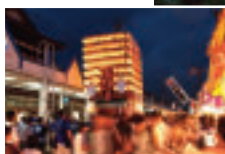
商家町で、往来で伝統行事が行われる町並み

所在地 氷見市南大町、本町、中央町

分類 行事

概要 7月に行われる曳山行事の「祇園祭り」は、日吉神社と日宮神社の祭礼である。日吉神社では5基の曳山と11基の太鼓台が曳き廻される。曳山の依代は華やかな花傘で、夜には提灯山となる。日宮神社では飾り付けられた6基の太鼓台が町内を巡行する。曳山などが曳き廻される往来は南北に流れる湊川に沿って設けられ、多くの見学者で賑わう。

ポイント 祇園祭り(とやまの祭り百選)
本川家住宅(とやまの近代歴史遺産百選)



81

きたおおまちちく

北大町地区



漁港に隣接し、河口に建ち並ぶ倉庫群の町並み

所在地 氷見市北大町

分類 その他

概要 宝達山から富山湾に東流する上庄川の河口に位置し、氷見漁港に隣接して切妻造りの倉庫や民家が建つ。建物は川に妻を向けて並列する。味噌や醤油の醸造に使われた原料の大豆や大麦の保管に用いられた明治中期の石蔵は、規模が大きく、外観が赤い銅板で化粧され、堂々と存在している。港と倉庫の美しい家並みが川面に映えている。

ポイント 旧醤油醸造石蔵(とやまの近代歴史遺産百選)

82

うなみちく

宇波地区



海浜道沿いの漁村で、伝統的な家屋が建ち並ぶ集落

所在地 氷見市宇波

分類 往来・集落

概要 集落は富山湾に面し、近世に氷見と能登を結んでいた海浜道に沿った比較的大きな漁村集落である。能登半島の東側付け根である灘浦地方においては拠点的な集落であった。宇波川の河口に設けられた漁港に向かって集落が形成され、集落を巡る小路の両側に、木造切妻造りの民家や白漆喰壁の土蔵などが密に建ち並んでいる。

ポイント 宇波神社のしとき献供(とやまの年中行事百選)
大敷網(農林水産業に関連する文化的景観)



83

とこなべちく

床鍋地区



能登へ向かう白ヶ峰往来沿いで、伝統行事が行われる農村集落

所在地 氷見市床鍋

分類 行事、往来・集落

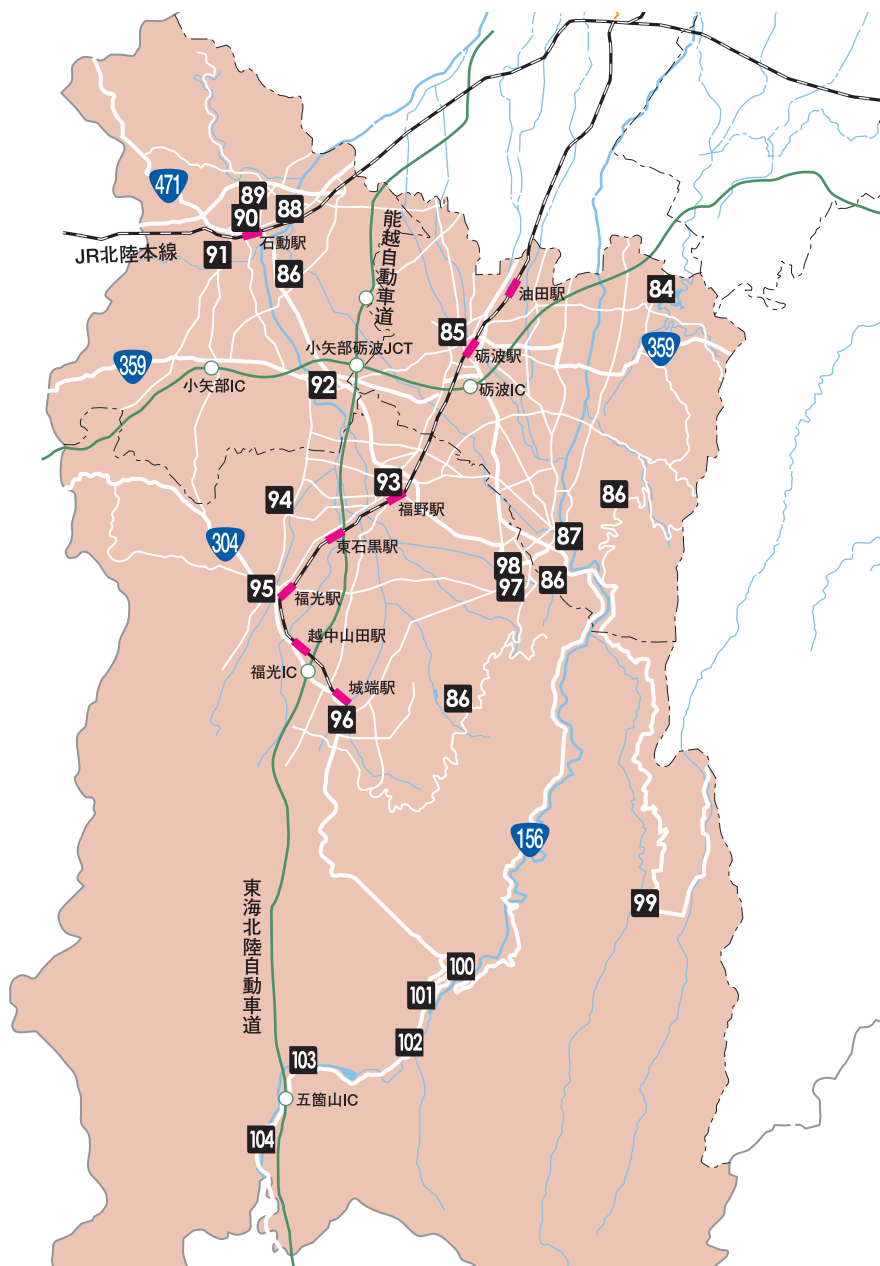
概要 能登半島の付け根に横たわる宝達丘陵の山間に位置する農村集落で、越中と能登を結ぶ白ヶ峰往来越えとも呼ばれた巡見使道に沿う。径が500m程の小さな盆地に家屋が群集している。県内では数少ない「ドロマシホイ」と呼ばれる害虫防除の行事が伝承されている。大松明が村内を曳き廻され、夕刻に火がつけられると、幻想的なシルエットが山々に映し出される。

ポイント 床鍋の虫送り(とやまの祭り百選)
白ヶ峰往来(文化庁の歴史の道百選)



砺波地区

砺波市、小矢部市、南砺市



84

まさやまちく

増山地区



用水の開削で成立した農村で、大型の農家が建ち並ぶ集落

所在地 砺波市増山

分類 往来・集落

概要 庄川右岸の河岸段丘上に位置し、近世の中田と井波を結んでいた巡見使道に沿う集落である。寛文3年(1663)に開削された芹谷用水によって段丘上に新田が開かれ、500m程の街村が形成された。東側の山間部には中世に増山城が築かれ、城下町もおおいに賑わったという。農業用水に沿って両側に大きなアズマダチが建ち並ぶ農村景観の典型例である。

ポイント 増山城跡(国史跡) 増山杉の産地(建具の好材)



85

ほんまちしゅうらへん

本町周辺



街道沿いの商家町で、往来で伝統行事が行われる町並み

所在地 砺波市本町、中央町、表町

分類 行事、往来・集落

概要 砺波平野のはほぼ中央部に慶安2年(1649)に町立てされた商家町である。近世に戸出と福野を結んでいた巡検使道で、西部の今石動、東部の井波へ通じる街道が交叉する要衝でもあった。木造切妻造りで正面に店舗を備えた大きな建築物が現存する。春には子供歌舞伎が演じられる曳山が巡行し、夏には大型行燈が曳き廻され、通りは賑わいを呈する。

ポイント 出町子供歌舞伎曳山(県無形民俗文化財)
砺波夜高祭り(とやまの祭り百選)



86

となみへいやのさんそんのてんぼろちいぎ

砺波平野の散村の展望地域



屋敷林と耕作地をもった民家が点在する農村景観

所在地 砺波市(夢の平散居村展望場) 南砺市(丸山展望台、閑乗寺公園)、小矢部市(クロスランドおやべ展望塔)

分類 その他

概要 小矢部川と庄川の扇状地である約22,000haの砺波平野には、うっそうとした杉林(カイニヨ)に囲まれた農家が点在する散村がみられる。微高地に建てられた家屋の周囲には畑地、水田、水路が巡っている。中世末から近世にかけての新田開発によって形成された歴史的な景観と考えられており、近世後期から、アズマダチと呼ばれる美しい建築物が造られるようになった。日本の稲作農村の原風景と言われている。

ポイント 入道家住宅(県有形文化財) となみ散居村ミュージアム



クロスランドおやべ展望塔



夢の平散居村展望場



丸山展望台



閑乗寺公園

87

しょうがわまちなやしゅうへん

庄川町金屋周辺



街道沿いの渡川の要衝で、伝統的建物と近代建築の町並み

所在地 砺波市庄川町金屋、青島

分類 往来・集落、行事

概要 砺波平野の扇頂部に位置し、近世には井波方面と五箇山方面への街道の要衝であった。近世と近代には、庄川による飛騨地方からの流木の集積地として重要な役割を果たした。水力発電用の大型ダム建設で大正から昭和初期にかけて、資材調達で賑わい、通りに建つ鉄筋コンクリート造りの木村産業社屋など近代の繁栄を現在に伝える町並みである。

ポイント 庄川観光祭(とやまの祭り百選)

青島の獅子舞(とやまの獅子舞百選)



88

にしぶくまち・ひがしぶくまちちく

西福町・東福町地区



北陸街道沿いで渡川の要衝で、料亭などの建物が建ち並ぶ町並み

所在地 小矢部市西福町、東福町

分類 往来・集落

概要 小矢部川を挟んで東西に走る北陸街道沿いに成立した町並みである。左岸の西福町には近世に小矢部御蔵が置かれ、慶長11年(1606)に町立てされて近世に鉄道が開通するまで、舟運の拠点としておおいに賑わった。右岸の東福町は新地とも呼ばれ、旅籠や料亭などが軒を並べた。木造切妻造り平入りで表に出格子の付いた落ち着いた家屋が多く現存する。

ポイント 川原町子供歌舞伎山(市有形民俗文化財)

花菖蒲祭り

89

やつわまちちく

八和町地区



街道沿いで、社寺建築や民家が軒を並べる町並み

所在地 小矢部市八和町

分類 往来・集落

概要 越前町通りの北側に延びる町並みで、宮島谷方面へ続く街道に沿う。南端は馬場の四叉路と呼ばれる交差点で、近世に高札場が設けられていた。西側の山麓部には城代の奉行所、御旅屋や馬場が設けられていた。往来は500m程細長く続き、両側には妻入りの家屋が建ち並ぶ。近世から続くいくつかの社寺が西麓に並ぶ。

ポイント 愛鉄町の獅子舞(とやまの獅子舞百選)
本行寺(市有形文化財「前田利秀画像」)



90

えちぜんまちどおり

越前町通り



北陸街道沿いの宿場町で、商家が建ち並び、往来で伝統行事の行われる町並み

所在地 小矢部市石動町、中央町

分類 往来・集落、行事

概要 小矢部川の中流域左岸で、城山の南麓に位置する北陸街道の大きな宿駅である。往来は1km程の長さで南北に走り、両側に商店が連なる。昭和40年代の街路整備事業で様相は一変したが、防火壁を持つ豪壮な木造二階建の切妻造りの商家が現存するなど、往時の盛況振りを偲ばせている。春には11基の華やかな花傘の曳山が通りを曳き廻される。

ポイント 石動の曳山(市有形民俗文化財)
石動の獅子舞祭り

91

はにゅうちく

殖生地区



北陸街道沿いの加宿で、古社の参道に家屋が建ち並ぶ町並み

所在地 小矢部市殖生

分類 往来・集落、行事

概要 金沢と越中とを結ぶ俱利伽羅峠の東端に位置し、近世には北陸街道の今石動宿と一体となって宿駅を務める加宿として、茶屋や商家などが軒を並べおおきに賑わった。中世には、上洛途上の木曾義仲が戦勝祈願を行った護国八幡宮の門前町として栄えた。現在でも木造切妻造りの二階建てで平入りの民家が建ち並び、落ち着いた町並みが形成されている。

ポイント 護国八幡宮(国重要文化財)
護国八幡宮宮めぐりの神事(とやまの年中行事百選)



92

つざわちく

津沢地区



街道沿いの渡川の要衝で、往来で伝統行事の行われる町並み

所在地 小矢部市津沢

分類 行事、往来・集落

概要 小矢部川の中流域右岸に位置し、小原越えと言われたと金沢と砺波を結ぶ街道筋に成立した。明暦2年(1656)に富山湾に注ぐ小矢部川の舟運の拠点として町立てされ、藩蔵が設けられるなど、砺波平野の米を始めとする農産物の流通拠点として賑わった。木造切妻造りで白漆喰壁の民家や商家が残り、夏には大きな夜高行燈が曳き廻される田祭りの行事が伝承されている。

ポイント 津沢夜高あんどん祭り(とやまの祭り百選)
阿曾三右衛門供養碑(市史跡)津沢町の開祖



93

ふくのちく

福野地区



砺波平野を東西と南北に走る街道が交差し、往来で伝統行事が行われる町並み

所在地 南砺市福野、浦町

分類 行事、往来・集落

概要 砺波平野を南北に走る近世の諸道は、高岡と在郷の町村とを結び、また五箇山や飛騨の産物の運搬に機能した。福野は慶安3年(1650)に町立てされ、六斎市で賑わった市場町である。いわゆる高岡道、城端道、井波道、今石動道といった諸道が交叉する交通の要衝として発展した。木造切妻造りの豪勢な民家が現存し、5月には大きな夜高行燈が通りを巡行する。

ポイント 福野の夜高祭(県無形民俗文化財)

授眼蔵図書館(大正8年、吉田鉄郎設計)



94

いわきちく

岩木地区



山麓沿いの農村で、伝統的な建物が建ち並ぶ集落

所在地 南砺市岩木

分類 往来・集落

概要 小矢部川左岸の医王山麓に南北に約1kmの長さで細長く続く集落である。大きな切妻造りで、正面の妻側に天梁、束、貫を組み、その間を白壁で埋める建物はアズマダチと呼ばれているが、この地区の多くの建築物はこの構造で建てられており、小高い丘陵背景に、三角形の白い妻面が建ち並ぶ光景。砺波平野の典型的な農村景観を残している。

ポイント 荊波神社(旧・岩木村鎮守)
利波臣志留志塚(方形の古墳)



95

ふくみつしんまちちく

福光新町地区



城下町として成立し、金沢への街道沿い商家町の町並み

所在地 南砺市福光新町

分類 往来・集落、行事

概要 砺波平野の南西部で医王山の麓に位置する福光地区は、中世に福光城の城下町として成立した。近世には、金沢へ向かういわゆる二俣越えや東部の井波へ向かう街道の要衝として発展した在郷町である。福光新町は南北に走る約500mの商家町で、生糸である曾代糸、麻布である八講布などの特産品が商われた。細い路地に切妻造り平入りの家屋が軒を並べている。

ポイント 宇佐八幡宮春季祭礼(庵屋台)
「あさがお通り」(家の前での朝顔の栽培)



96

じょうはなちちく

城端地区



古刹の門前町で、商家と土蔵が建ち並び、往来で伝統行事が行われる町並み

所在地 南砺市城端

分類 往来・集落、建造物、行事

概要 山田川右岸の河岸段丘上に位置し、中世に古刹・善徳寺の門前町として興り、近世には市場町として発展した。五箇山へ通じる街道筋にあたり、近隣の農村での養蚕業を背景に、絹織物を扱う商店等が軒を並べた。往来には現在でも大きな木造二階建切妻造りの民家があり、また、白漆喰壁で木造腰板の土蔵も多く残されている。優雅な曳山と庵屋台の巡行する往来でもある。

ポイント 城端神明宮祭の曳山行事(国重要無形民俗文化財) 城端むぎや祭(とやまの祭り百選)



97

よらかまちどおり

八日町通り



古刹の門前町で、商家と民家が建ち並ぶ町並み

所在地 南砺市井波

分類 往来・集落、建造物、行事

概要 八乙女山の麓で、中世に建立された古刹・瑞泉寺の門前町として成立した。近世には庄川沿いの五箇山道による交易の拠点として発展し、瑞泉寺の再建を契機として井波大工と呼ばれる寺社建築の職人が活躍し、現代の井波彫刻にその伝統技法が引き継がれている。木造切妻造りの家屋が建ち並び、井波欄間など木彫品を販売する商店などが軒を並べる。

ポイント 瑞泉寺山門(県有形文化財) 井波彫刻
よいやさ祭り(とやまの祭り百選)



98

ほんまち(かみあらまちどおり)ちく

本町(上新町通り)地区



古刹への参詣道で、商家と民家が建ち並ぶ町並み

所在地 南砺市井波

分類 往来・集落、行事

概要 近世に高岡方面から瑞泉寺へ参拝したいわゆる井波道で、近世後期から発展した井波彫刻の店舗などが軒を並べている。家屋は、棧瓦葺の木造切妻造り二階建てでほぼ統一されており、建物のスカイラインが見事に整えられている。木彫作家が住まいする家屋が多く、往来に面した工房での作業風景が公開されるなど、観光客への配慮などがみられる。

ポイント よいやさ祭り(とやまの祭り百選)
往来越しの八乙女山の眺望

99

とがむらちく

利賀村地区



山腹の農村で、往來で伝統的な行事が行われる集落

所在地 南砺市利賀村(上村)

分類 行事、往來・集落

概要 利賀川右岸の山腹に位置し、利賀谷流域で最も大きな山村集落である。谷底からの比高は約80mを計り、段斜面に民家が点在する。近世には羽根道と呼ばれた飛騨と越中を結ぶ山間の間道があり、煙硝や林産物などが生産されていた。豊穡多産を願う初午行事が、正月に地区の子供たちによって演じられ、富山県の冬の風物詩のひとつとなっている。

ポイント 利賀の初午行事(県無形民俗文化財)
利賀上村の獅子舞(とやまの獅子舞百選)



100

しもなしちく

下梨地区



五箇山道沿いに家屋が建ち並び、往來で伝統行事が行われる農村集落

所在地 南砺市下梨

分類 行事、往來・集落

概要 庄川の中流域河岸段丘上に位置し、五箇山地域の中で最も広い平坦地に成立した集落である。近世には煙硝や和紙が生産され、庄川沿いのいわゆる五箇山道を通して、砺波平野の在郷町に送られた。地主社と瑞願寺が地区の中央に位置し、かつてはその周囲に合掌造り建物が群集していた。9月には五箇山民謡の麦屋節の輪踊りが披露される。

ポイント 下梨御巡行の儀(市無形民俗文化財)
五箇山麦屋まつり(とやまの祭り百選)

101

あいのくらく

相倉地区



山間に伝統的な建造物が建ち並ぶ農村集落

所在地 南砺市相倉

分類 建造物、往来・集落

概要 飛騨から砺波平野へ北流する庄川の中流域左岸の山間に位置し、背後にブナの山林が生い茂る山村集落である。大きな茅葺切妻造りの20棟の合掌造り建物が建ち並び、社寺や土蔵、棚田などとともに、近世の山村の光景をそのまま現代に継承している。建物の向きは、谷間を流れる風の向きにあわせて南北に棟を揃えている。

ポイント 世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」



102

かみなしちく

上梨地区



五箇山道沿いに民家が建ち並び、往来で伝統行事が行われる農村集落

所在地 南砺市上梨

分類 行事、建造物、往来・集落

概要 庄川の中流域河岸段丘上に位置し、文亀2年(1502)の棟札を有する白山宮の門前に開けた集落である。古代の人形山の山岳信仰に由来する神社であり、9月には五箇山民謡の「こきりこ」が奉納される。庄川沿いのいわゆる五箇山道の道筋にあたり、かつては合掌造り建物の民家が群集していた。村上家住宅は通りに面して建ち、妻入りの大規模な合掌造り建物である。

ポイント 村上家住宅(国重要文化財)
こきりこ祭り(とやまの祭り百選)



103

すかぬまちく

菅沼地区



山間に伝統的な建造物が建ち並ぶ農村集落

所在地 南砺市菅沼

分類 建造物、往来・集落

概要 飛騨から砺波平野へ北流する庄川の中流域右岸の河岸段丘上に位置する山村集落である。大きな茅葺切妻造りの9棟の合掌造り建物が建ち並び、周囲に耕作地を配して、背後には雪崩防止用の「雪持ち林」と呼ばれるブナの山林が生い茂っている。合掌造り建物は1階が生活空間であり、2階から上の小屋組では、養蚕が行われていた。

ポイント 世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」



104

にしあかおちく

西赤尾地区



五箇山道沿いに伝統的な家屋が建ち並ぶ農村集落

所在地 南砺市西赤尾

分類 往来・集落、建造物

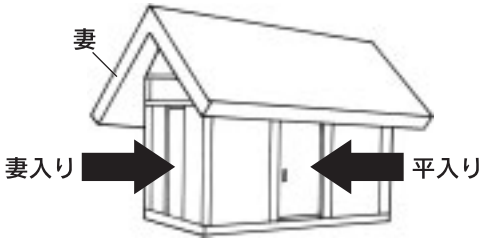
概要 庄川の中流域左岸の河岸段丘上に位置し、いわゆる五箇山道に面した山村集落である。越中の最南端の集落であり、近世には飛騨との交易の拠点として、加賀藩へ納める産物の集積地として賑わった。岩瀬家住宅は国内最大の合掌造り建物であり、隣接する行徳寺は15世紀に蓮如の直弟子として活躍した越中赤尾の道宗が開いた古刹である。

ポイント 岩瀬家住宅(国重要文化財)
行徳寺の山門と庫裏(市有形文化財)

4 建造物の構造

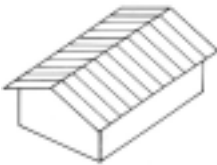
【屋根から見た出入口】

屋根の一番高い所を棟(むね)といい、棟と平行な方向を「平(ひら)」、直角の方向を「妻(つま)」といいます。



また、建物の出入口が、どの方向に設けられているかによって「平入り」「妻入り」といいます。最も基本的な屋根の構造には、4つの構造があります。複雑に見える屋根の構造も、これらの構造を組合わせたものです。

【屋根形状から見た種類】



【切妻造り(きりづまづくり)】

本を半開きにして伏せた形の単純な構造のもの。最も初源的な構造です。



【寄棟造り(よせむねづくり)】

棟の両端から、軒の四隅へ下る隅棟が四つある構造のもの。上記の切妻が発展したものです。



【入母屋造り(いりもやづくり)】

上半部分が切妻造りで、下半部分が四方流れ造りのもの。茅葺(かやぶき)の民家の多くは、これにあたります。



【方形造り(ほうぎょうづくり)】

四方の隅棟が中心の一点に集まったもので、四角錐に見える構造のもの。一般の住居には少なく、寺社建築に多く見られます。

【富山県の特徴的な民家】

【合掌造り】



木材を梁（はり）の上に手の平を合わせたように山形に組み合わせて建築された、勾配の急な茅葺きの屋根を特徴とする住居

- ・合掌の組立てには釘は一切打たず、縄とネソと呼ばれるマンサクの木を使用
- ・屋根の勾配は急で60度、断面は正三角形に近く、積もった雪は自然に屋根から滑り落ちる
- ・屋根の葺き替えは約15年に一度、村の人が協力して行なう
- ・合掌造りの屋根裏は「アマ」や「ソラアマ」といい、柱のない3角形の広い屋根裏で養蚕を行った。



【アズマダチ】

アズマダチは東向きの大きな切妻造りで、東から見た屋敷の正面は、大きな三角の妻面に太い梁と束、そして貫がます目に組まれ、その間が白壁となっていて美しい。

また、家屋を風雪や、夏の強い日差しを避けるために、屋敷林に囲まれているのが特徴

5 とやまの歴史的まちなみ百選一覧

分類 A:歴史的建造物からなるまちなみ B:歴史的な街道や往来からなるまちなみ C:伝統的な行事が行なわれるまちなみ D:その他

No.	市町村	分類	名 称	町 並 み の 特 徴	掲載頁
1	朝日町	B	境地区	北陸街道沿いで、古利や商家が建ち並ぶ集落	5
2	朝日町	C	宮崎地区	北陸街道沿いで、往来で伝統行事が行われる集落	5
3	朝日町	B	神田町の通り	北陸街道沿いで、茶屋が軒を連ねる町並み	6
4	朝日町	B	笹川地区	山間の農村で、農家、土蔵と石垣のある集落	6
5	入善町	B	中町商店街通り	北陸街道の宿駅で、家屋が軒を並べる町並み	7
6	入善町	D	吉原地区	農・漁村で、小説と映画の舞台となった道のある集落	7
7	入善町	B	舟見地区	北陸街道の宿場町で、伝統的な民家が建ち並ぶ集落	8
8	黒部市	B	法福寺参道	古利の門前町で、境内で伝統行事が行われる集落	8
9	黒部市	C	宇奈月町下立1区	北陸街道沿いの渡川の要衝で、往来で伝統行事が行われる集落	9
10	黒部市	B	宇奈月町浦山地区	北陸街道の宿場町で、伝統的な家屋が残る集落	9
11	黒部市	B	宇奈月温泉街	山間に開けた温泉宿の町並み	10
12	黒部市	B	荒俣地区	河口の積出拠点で、現在は農・漁村の集落	10
13	黒部市	D	生地中橋周辺	海浜往来の宿駅で、商家、倉庫、民家が軒を並べる町並み	11
14	黒部市	B	香掛地区	北陸街道沿いの渡川の農村で、民家が建ち並ぶ集落	11
15	黒部市 入善町	D	宮野運動公園 宇奈月町栃屋金比羅社 宇奈月町中ノ口 石動彦社展望台 明日キャンプ場 舟見城址館展望台 下山芸術の森展望塔	黒部川扇状地の散村のビューポイントで、屋敷林と耕作地をもった民家が点在する農村景観	12
16	魚津市	C	諏訪町地区	古社の門前の往来で伝統行事が行われる町並み	13
17	魚津市	D	本町1丁目周辺	北陸街道沿いで、いわゆる米騒動の建物が残る町並み	13
18	魚津市	C	小川寺地区	山間の古社寺の門前で伝統行事が行われる集落	14
19	魚津市	D	北山地区	山間の集落で、温泉宿が建ち並ぶ集落	14
20	滑川市	A	瀬羽町・大町・荒町・中町の通り	北陸街道沿いの宿場町で、商家が建ち並ぶ町並み	15
21	滑川市	C	加島町周辺	北陸街道沿いで、往来で伝統行事が行われる町並み	15
22	上市町	B	五位尾地区	山間の農村で、農家の建物や土蔵が建ち並ぶ集落	17
23	上市町	D	大岩地区	山間の古社の門前に旅館等が参道に建ち並ぶ集落	17

分類 A:歴史的建造物からなるまちなみ B:歴史的な街道や往来からなるまちなみ C:伝統的な行事が行なわれるまちなみ D:その他

No.	市町村	分類	名 称	町 並 み の 特 徴	掲載頁
24	上市町	C	東種地区	山間の農村で、農家が建ち並ぶ集落	18
25	立山町	B	五百石地区	東西と南北に走る街道が交叉し、商家が建ち並ぶ町並み	18
26	立山町	A	岩峠寺地区	山岳信仰の拠点で、古社と民家が建ち並ぶ集落	19
27	立山町	A	芦峠寺地区	山岳信仰の拠点で、古社と民家が建ち並ぶ集落	19
28	富山市	B	水橋地区	北陸街道沿いで、廻船問屋の残る歴史的な町並み	20
29	富山市	B	浜黒崎周辺	北陸街道沿いで、往還松並木の残る町並み	20
30	富山市	A	東岩瀬町地区	典型的な北前船の廻船問屋が建ち並ぶ歴史的な町並み	21
31	富山市	B	四方西岩瀬地区	湊町で、北前船の寄港地として賑わった町並み	21
32	富山市	B	新庄町周辺	北陸街道沿いで、業種商の商家などが建ち並ぶ町並み	22
33	富山市	B	願海寺地区	北陸街道沿いで、往来の屈曲がそのまま残る町並み	22
34	富山市	D	新緑曲輪周辺	富山都市計画事業の都市景観で近代建築の町並み	23
35	富山市	B	本宮地区	立山温泉道沿いにあり、山麓に残る山村の集落	24
36	富山市	B	上滝地区	立山街道沿いにあり、商家などの残る町並み	24
37	富山市	C	八尾町諏訪町本通り	石畳の商家町で、おわら風の盆と曳山行事の行われる町並み	25
38	富山市	D	八尾町西町周辺	井田川沿いの高い石垣の上に軒を並べる町並み	25
39	富山市	B	山田湯地区	山間の一軒宿の温泉と農村の集落	26
40	富山市	B	大久保地区	飛騨街道沿いで、家々がゆったりと並ぶ「路村」の集落	26
41	富山市	B	笹津地区	飛騨街道沿いの交通の要衝で、商家などの残る町並み	27
42	富山市	B	片掛地区	飛騨街道沿いで、山間に家屋が建ち並ぶ農村集落	27
43	富山市	B	猪谷地区	飛騨街道沿いで、交通の要衝として民家などが残る集落	28
44	富山市	B	東猪谷地区	飛騨街道沿いで、切妻造り平屋建ての民家が残る農村集落	28
45	富山市	B	蟹寺地区	飛騨街道沿いで、山間にたたずむ農村集落	29
46	射水市	C	海老江地区	浜往来の漁村で、北前船の拠点でもあった町並み	31
47	射水市	C	八幡町地区	浜往来沿いで、古社の門前に家並みが続く町並み	31
48	射水市	B	本町地区	北前船の大きな廻船問屋と商家の町並み	32
49	射水市	C	放生津町地区	浜往来沿いで、商家と民家が建ち並ぶ町並み	32
50	射水市	C	庄西町地区	近代の港湾に面し、洋風建築と倉庫が建ち並ぶ町並み	33
51	射水市	D	内川周辺	運河の機能を果たす内川沿いに倉庫や町屋が建ち並ぶ町並み	33

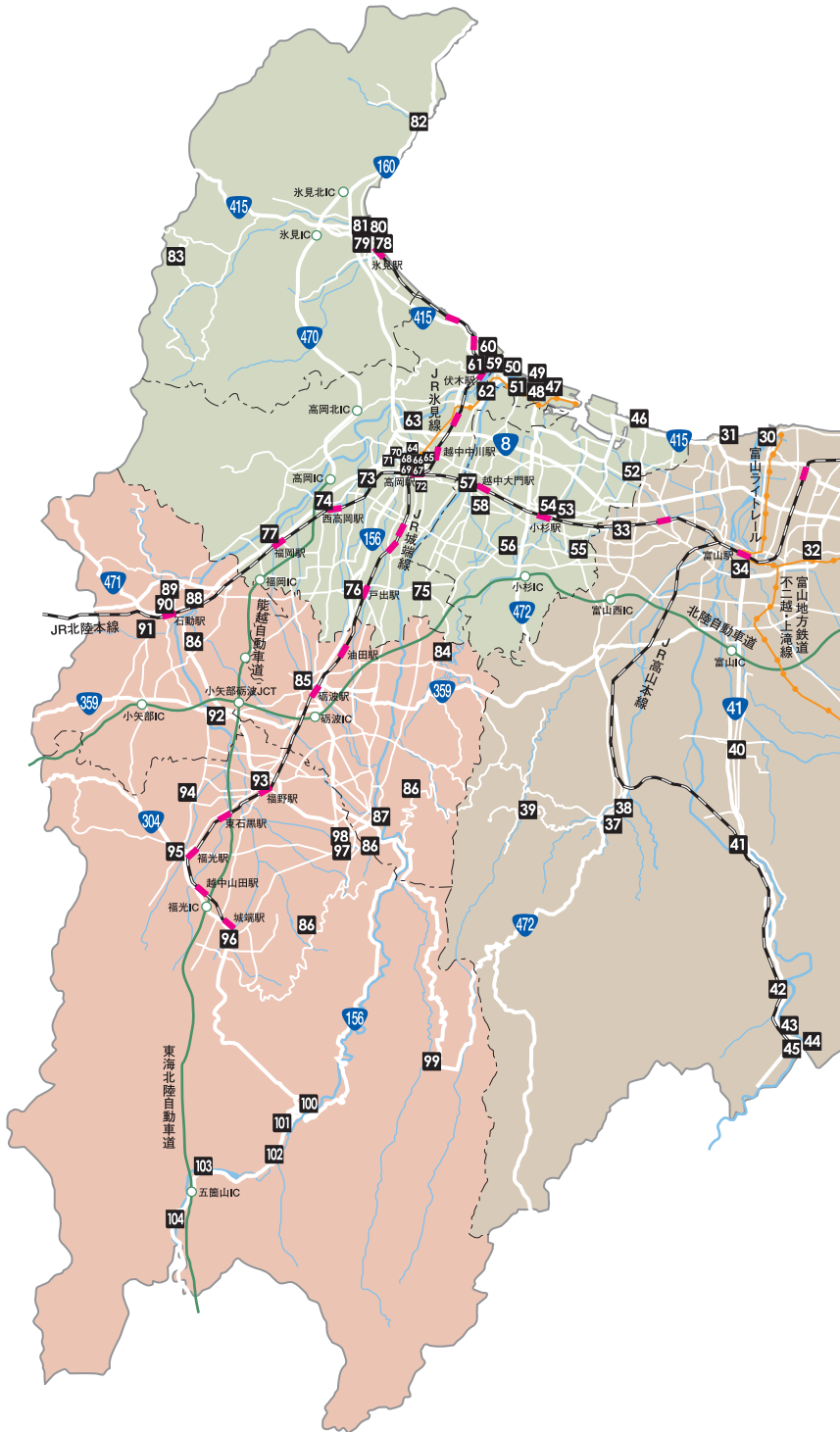
分類 A:歴史的建造物からなるまちなみ B:歴史的な街道や往来からなるまちなみ C:伝統的な行事が行なわれるまちなみ D:その他

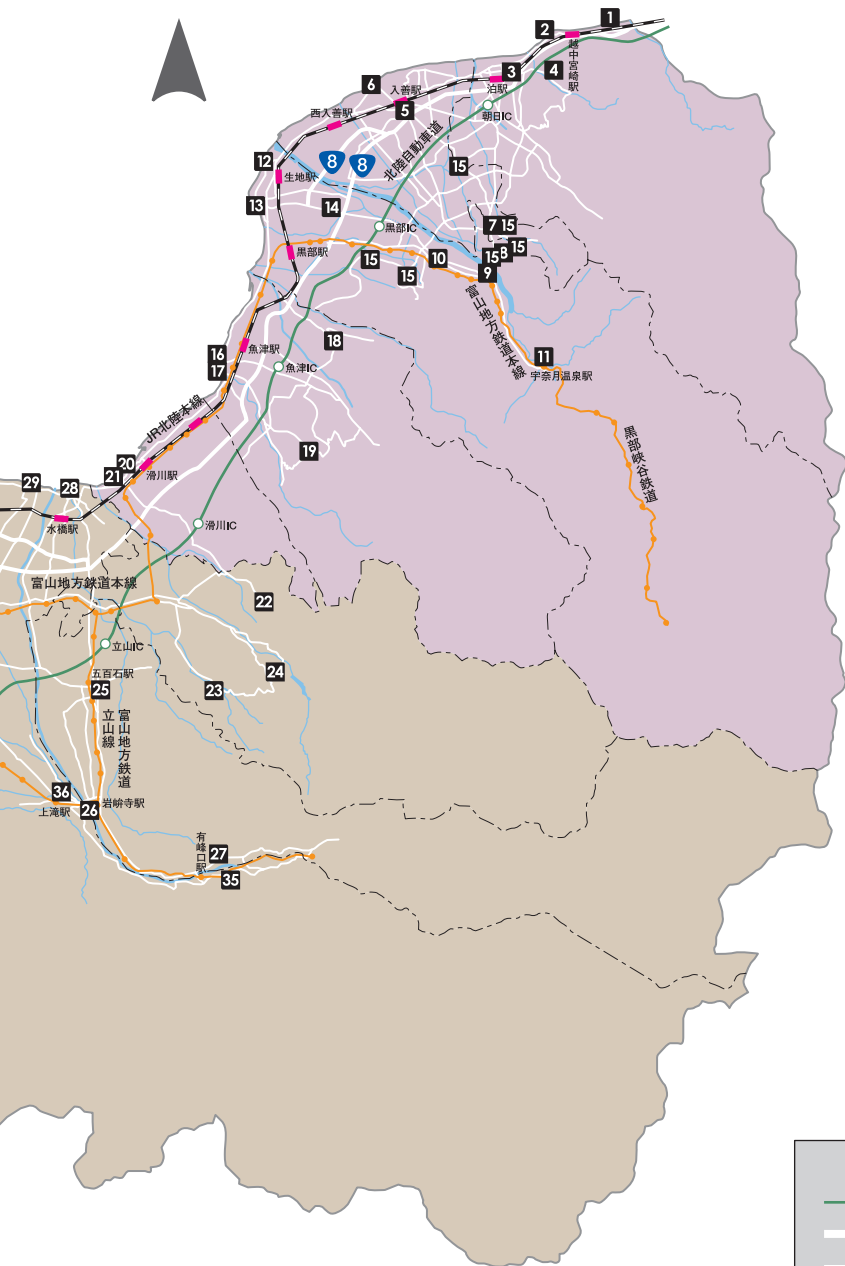
No.	市町村	分類	名 称	町 並 み の 特 徴	掲載頁
52	射水市	C	加茂中部地区	北陸街道の宿駅で、往来で伝統行事が行われる町並み	34
53	射水市	B	戸破地区・手崎地区	北陸街道沿いで、渡川の拠点の町並み	34
54	射水市	A	三ヶ地区・戸破地区	北陸街道沿いで、土蔵造りや木造民家が建ち並ぶ町並み	35
55	射水市	B	黒河地区	古い北陸街道沿いの集落で、民家が建ち並ぶ町並み	35
56	射水市	B	水戸田地区	古い北陸街道沿いの宿駅で、民家が建ち並ぶ町並み	36
57	射水市	C	大門地区	北陸街道沿いの渡川の拠点で、商家や民家の家並みが続く町並み	36
58	射水市	B	二口地区	熊野往来沿いの集落で、伝統的な民家が建ち並ぶ町並み	37
59	高岡市	A	伏木湊町地区	近代の港湾に面し、洋風建築と土蔵造り建物が建ち並ぶ町並み	37
60	高岡市	A	伏木本町・伏木中央町地区	商家町で、廻船問屋が軒を並べる町並み	38
61	高岡市	A	伏木古国府地区	古刹・勝興寺の門前町で、寺院、廻船問屋などが建ち並ぶ町並み	38
62	高岡市	A	吉久地区	浜往来沿いで、伝統的な木造切妻造りの町家が建ち並ぶ町並み	39
63	高岡市	B	木町地区	河川の舟運の拠点となった商家町で、小路に木造建築が建ち並ぶ町並み	39
64	高岡市	A	京町地区	水見街道沿いで、商家が建ち並ぶ町並み	40
65	高岡市	B	本丸町地区	高岡城の城下町で、外濠沿いに家屋が建ち並ぶ町並み	40
66	高岡市	D	坂下町地区	商家町で、往来から高岡大仏の眺望できる町並み	41
67	高岡市	C	末広町地区	高岡城の城下町で、伝統的な建造物と七夕祭りが彩る町並み	41
68	高岡市	A	山町筋	北陸街道沿いで、豪壮な土蔵造りの商家が建ち並ぶ町並み	42
69	高岡市	B	嶋島町地区	高岡城の城下町で、商家が建ち並ぶ町並み	42
70	高岡市	A	金屋町地区	城下町で、鋳物職人の建物が建ち並ぶ町並み	43
71	高岡市	B	横田地区	北陸街道沿いの渡川の集落で、古社や家屋が建ち並ぶ町並み	43
72	高岡市	A	八丁道	古刹・瑞龍寺と藩主の菩提寺を結ぶ通りのある町並み	44
73	高岡市	B	和田地区	北陸街道沿いの農村で、民家が建ち並ぶ町並み	44
74	高岡市	B	立野地区	北陸街道沿いの宿場町で、伝統的な木造家屋が建ち並ぶ町並み	45
75	高岡市	B	中田地区	砺波平野を東西に走る街道が交叉する渡川の要衝で、商家の町並み	45
76	高岡市	C	戸出町周辺	砺波平野を東西に走る街道が交叉する要衝で、七夕飾りが彩る町並み	46
77	高岡市	B	福岡町福岡地区	北陸街道沿いの商家町で、伝統的な木造家屋の町並み	46
78	水見市	B	地蔵町地区	能登へ続く海浜街道沿いで、漁村集落の町並み	47
79	水見市	C	朝日本町周辺	古刹の伝統行事が行われる町並み	47

分類 A:歴史的建造物からなるまちなみ B:歴史的な街道や往来からなるまちなみ C:伝統的な行事が行なわれるまちなみ D:その他

No.	市町村	分類	名 称	町 並 み の 特 徴	掲載頁
80	水見市	C	南大町周辺	商家町で、往来で伝統行事が行われる町並み	48
81	水見市	D	北大町地区	漁港に隣接し、河口に建ち並ぶ倉庫群の町並み	48
82	水見市	B	宇波地区	海浜道沿いの漁村で、伝統的な家屋が建ち並ぶ集落	49
83	水見市	C	床鍋地区	能登へ向かう白ヶ峰往来沿いで、伝統行事が行われる農村集落	49
84	砺波市	B	増山地区	用水の開削で成立した農村で、大型の農家が建ち並ぶ集落	51
85	砺波市	C	本町周辺	街道沿いの商家町で、往来で伝統行事が行われる町並み	51
86	砺波市 小矢部市 南砺市	D	夢の平散居村展望台 クロスランドおやべ展望塔 丸山展望台(南砺市丸山) 閑乗寺公園キャンプ場	砺波平野の散村のビューポイントで、屋敷林と耕作地をもった民家が点在する農村景観	52
87	砺波市	B	庄川町金屋周辺	街道沿いの渡川の要衝で、伝統的建物と近代建築の町並み	53
88	小矢部市	B	西福町・東福町地区	北陸街道沿いで渡川の要衝で、料亭などの建物が建ち並ぶ町並み	53
89	小矢部市	B	八和町地区	街道沿いで、社寺建築や民家が軒を並べる町並み	54
90	小矢部市	B	越前町通り	北陸街道沿いの宿場町で、商家た建ち並び、往来で伝統行事の行われる町並み	54
91	小矢部市	B	殖生地区	北陸街道沿いの加宿で、古社の参道に家屋が建ち並ぶ町並み	55
92	小矢部市	C	津沢地区	街道沿いの渡川の要衝で、往来で伝統行事の行われる町並み	55
93	南砺市	C	福野地区	砺波平野を東西と南北に走る街道が交叉し、往来で伝統行事が行われる町並み	56
94	南砺市	B	岩木地区	山麓沿いの農村で、伝統的な建物が建ち並ぶ集落	56
95	南砺市	B	福光新町地区	城下町として成立し、金沢への街道沿い商家町の町並み	57
96	南砺市	B	城端地区	古刹の門前町で、商家と土蔵が建ち並び、往来で伝統行事が行われる町並み	57
97	南砺市	B	八日町通り	古刹の門前町で、商家と民家が建ち並ぶ町並み	58
98	南砺市	B	本町(上新町通り)地区	古刹への参詣道で、商家と民家が建ち並ぶ町並み	58
99	南砺市	C	利賀村地区	山腹の農村で、往来で伝統的な行事が行われる集落	59
100	南砺市	C	下梨地区	五箇山道沿いに家屋が建ち並び、往来で伝統行事が行われる農村集落	59
101	南砺市	A	相倉地区	山間に伝統的な建造物が建ち並ぶ農村集落	60
102	南砺市	C	上梨地区	五箇山道沿いに民家が建ち並び、往来で伝統行事が行われる農村集落	60
103	南砺市	A	菅沼地区	山間に伝統的な建造物が建ち並ぶ農村集落	61
104	南砺市	B	西赤尾地区	五箇山道沿いに伝統的な家屋が建ち並ぶ農村集落	61

「とやまの歴史的まちなみ」百選マップ





凡 例	
	高速道路
	国道
	一般道
	JR線
	私鉄
	河川
	市町村境

